HITACHI
Inspire the Next

もっと知りたい！JP1活用ノウハウ「ITコンプライアンス編」

テクニカルトラック【JC-3】

2008/11/17

株式会社 日立製作所 ソフトウェア事業部
JP1販売推進センタ

佐藤　靖広

uVALUE

HITACHI
Inspire the Next

Contents

uVALUE

HITACHI
Inspire the Next

1
はじめに

uVALUE

1-1. ITコンプライアンス – 大切なIT資産を「守る」

HITACHI
Inspire the Next

JP1のITコンプライアンスは、資産情報を一元管理することで、企業情報システムを構成するコンピュータシステムの健全かつ有効な環境を提供します。
さらに、脆弱なクライアントPCの強制排除や情報漏えい対策など、
さまざまなセキュリティリスクへの予防対策を講じることができます。

ITコンプライアンスを支える管理製品

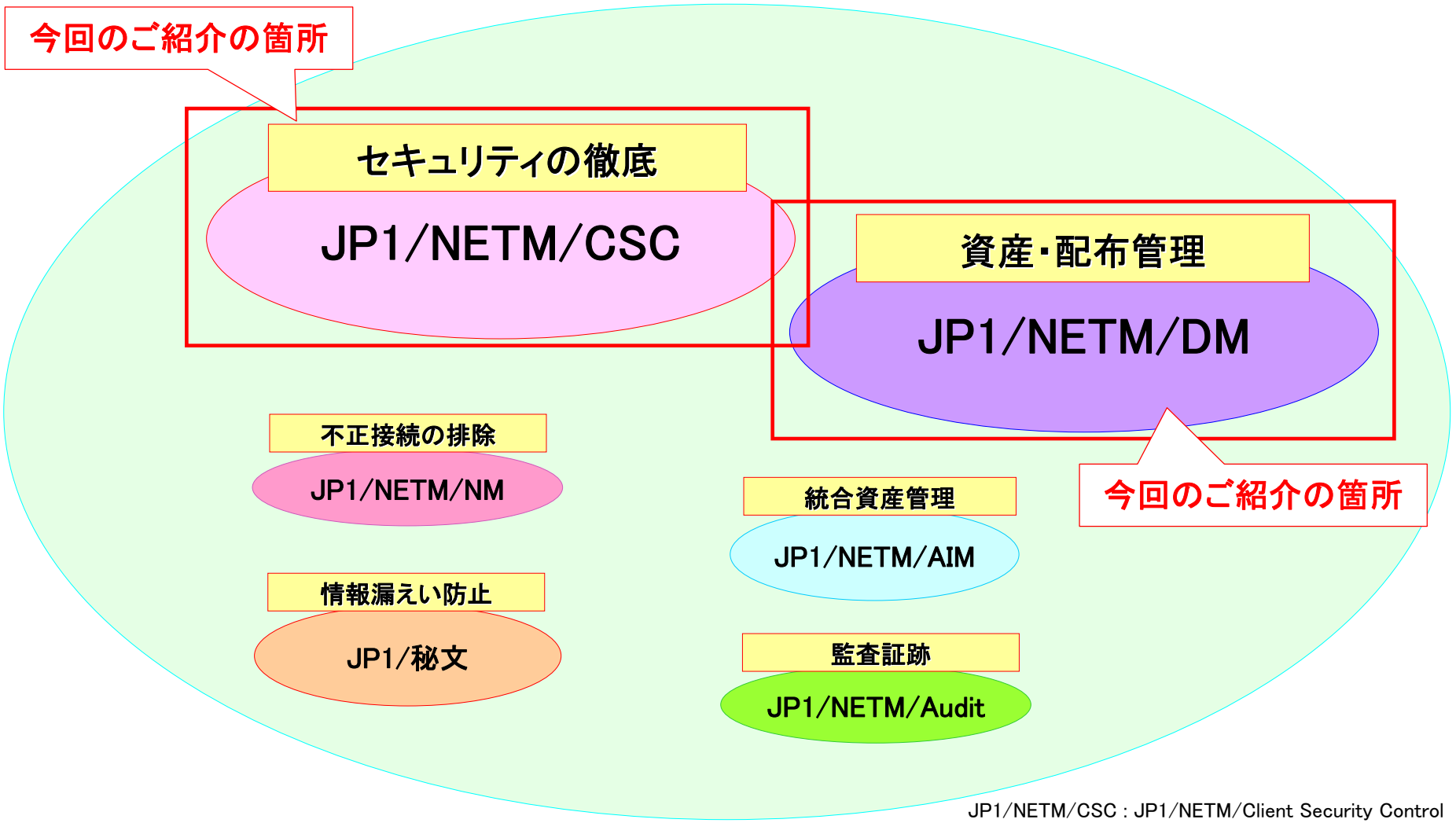
- 資産・配布管理
- セキュリティ管理

uVALUE

1-1. ITコンプライアンス　– 大切なIT資産を「守る」

HITACHI
Inspire the Next

ITコンプライアンスを支える管理製品



JP1/NETM/CSC : JP1/NETM/Client Security Control
JP1/NETM/NM : JP1/NETM/Network Monitor
JP1/NETM/AIM : JP1/NETM/Asset Information Manager

uVALUE

HITACHI
Inspire the Next

2

PCの省電力設定・セキュリティ対策を徹底したい

uVALUE

2. PCの省電力設定・セキュリティ対策を徹底したい

HITACHI
Inspire the Next

クライアントPCの省電力設定やセキュリティ対策状況を把握し
対策を徹底させたいが、良い手段はありますか?

省電力設定関連やセキュリティ関連の
インベントリ情報を収集し、チェックしましょう！

【対象製品】 JP1/NETM/DM
JP1/NETM/CSC

2-1. インベントリ情報を取得

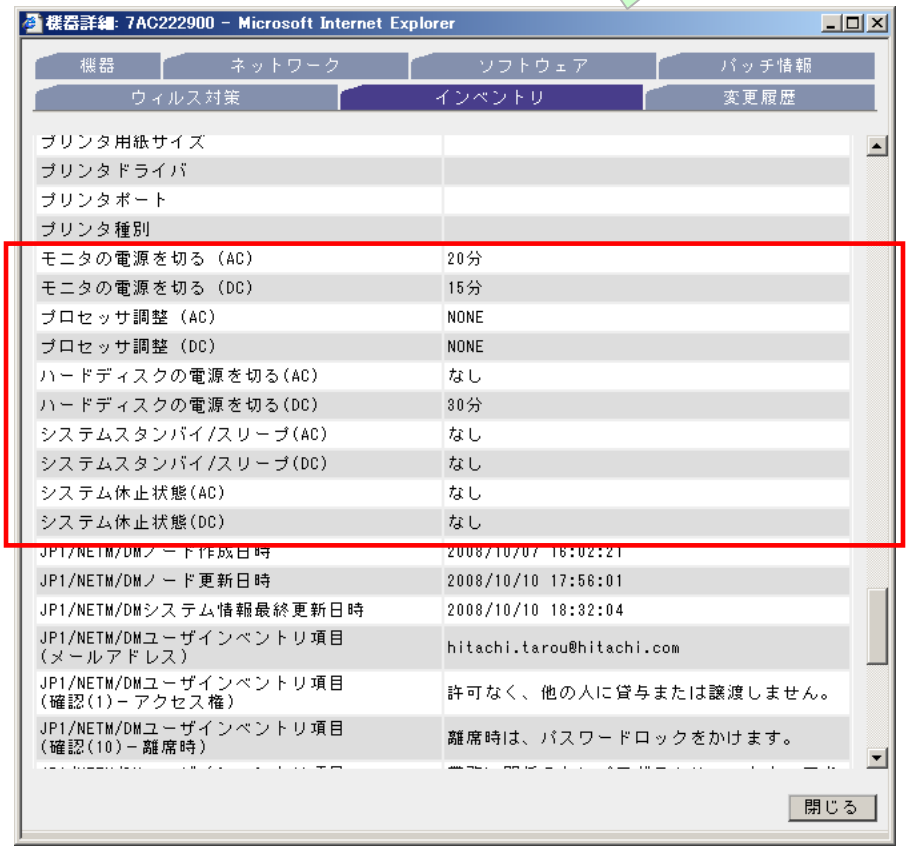
HITACHI
Inspire the Next

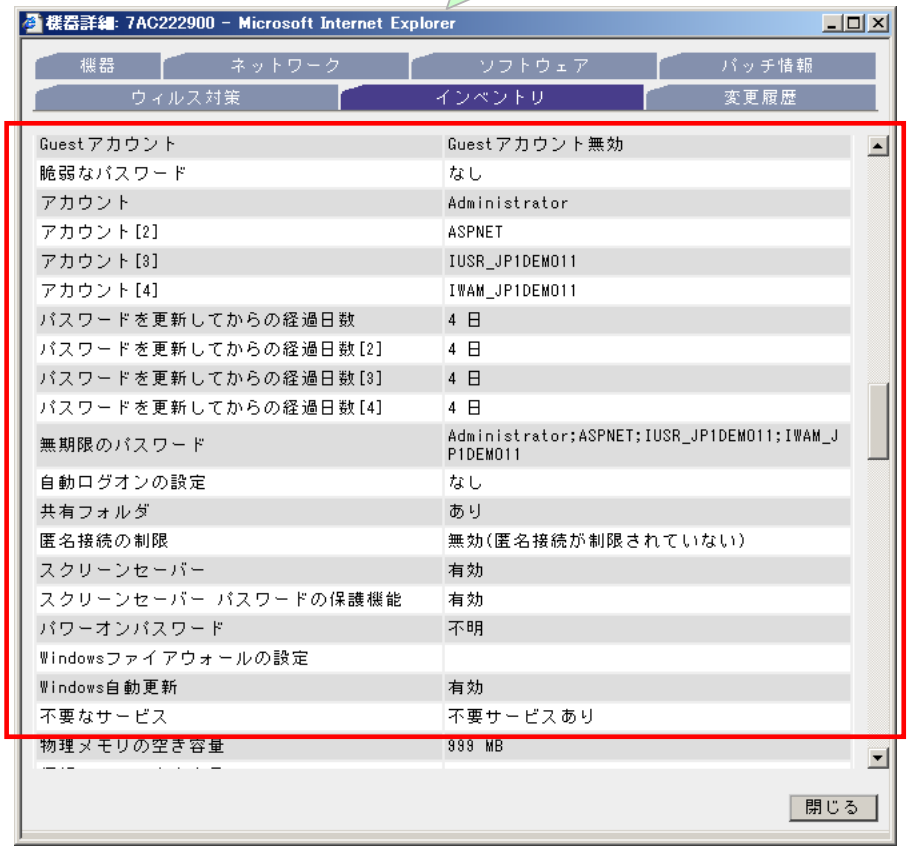
JP1/NETM/DM

その1　省電力設定関連やセキュリティ関連のインベントリ情報を取得

省電力設定関連のインベントリ情報

セキュリティ関連のインベントリ情報





2-1. インベントリ情報を取得

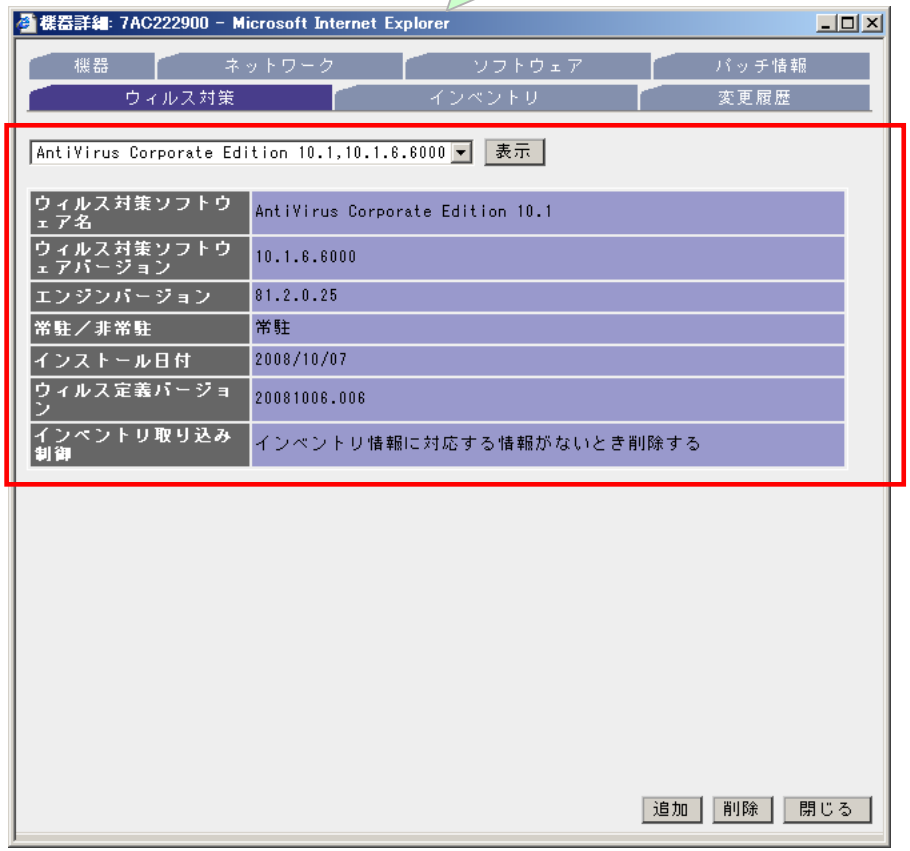
HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM

その1　省電力設定関連やセキュリティ関連のインベントリ情報を取得

セキュリティパッチのインベントリ情報

ウイルス対策製品のインベントリ情報



2-1. インベントリ情報を取得

HITACHI
Inspire the Next

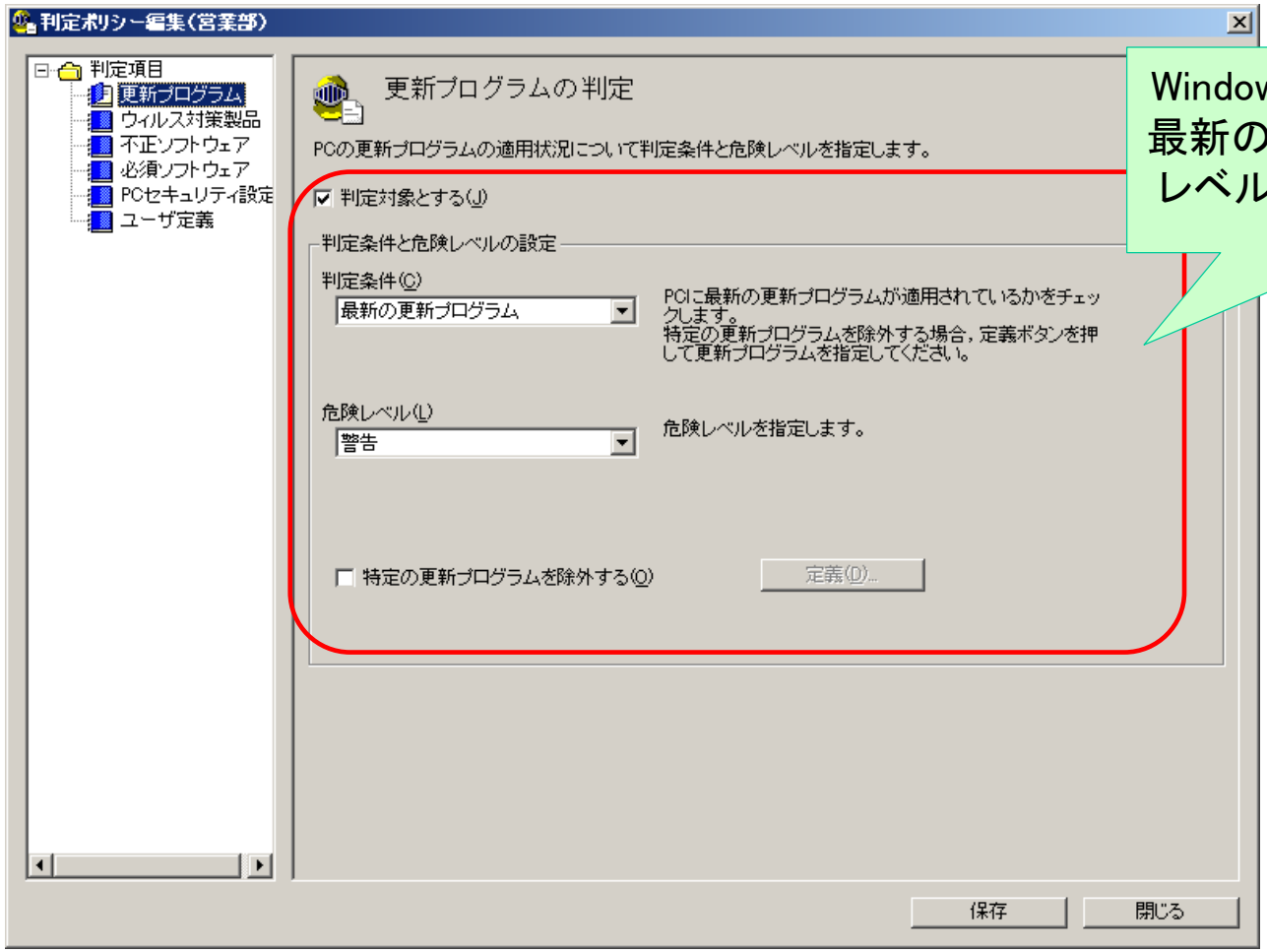
JP1/NETM/DM

■参照手順

2-2. 判定ポリシーを設定

その2　判定ポリシーを設定します

■セキュリティ対策状況の判定ポリシー設定



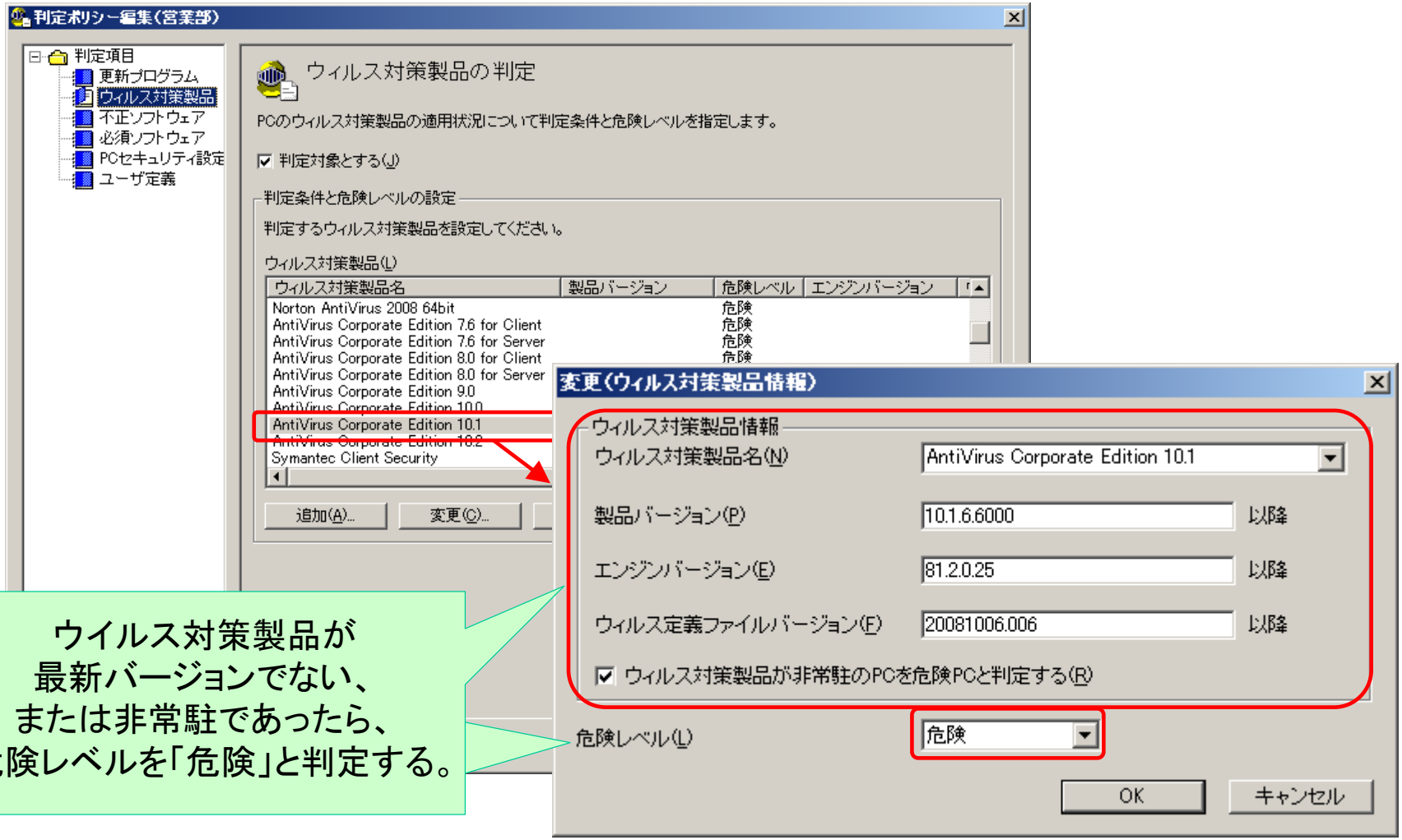
Windowsセキュリティパッチが最新の状況でなければ、危険レベルを「警告」と判定する。

2-2. 判定ポリシーを設定

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/CSC

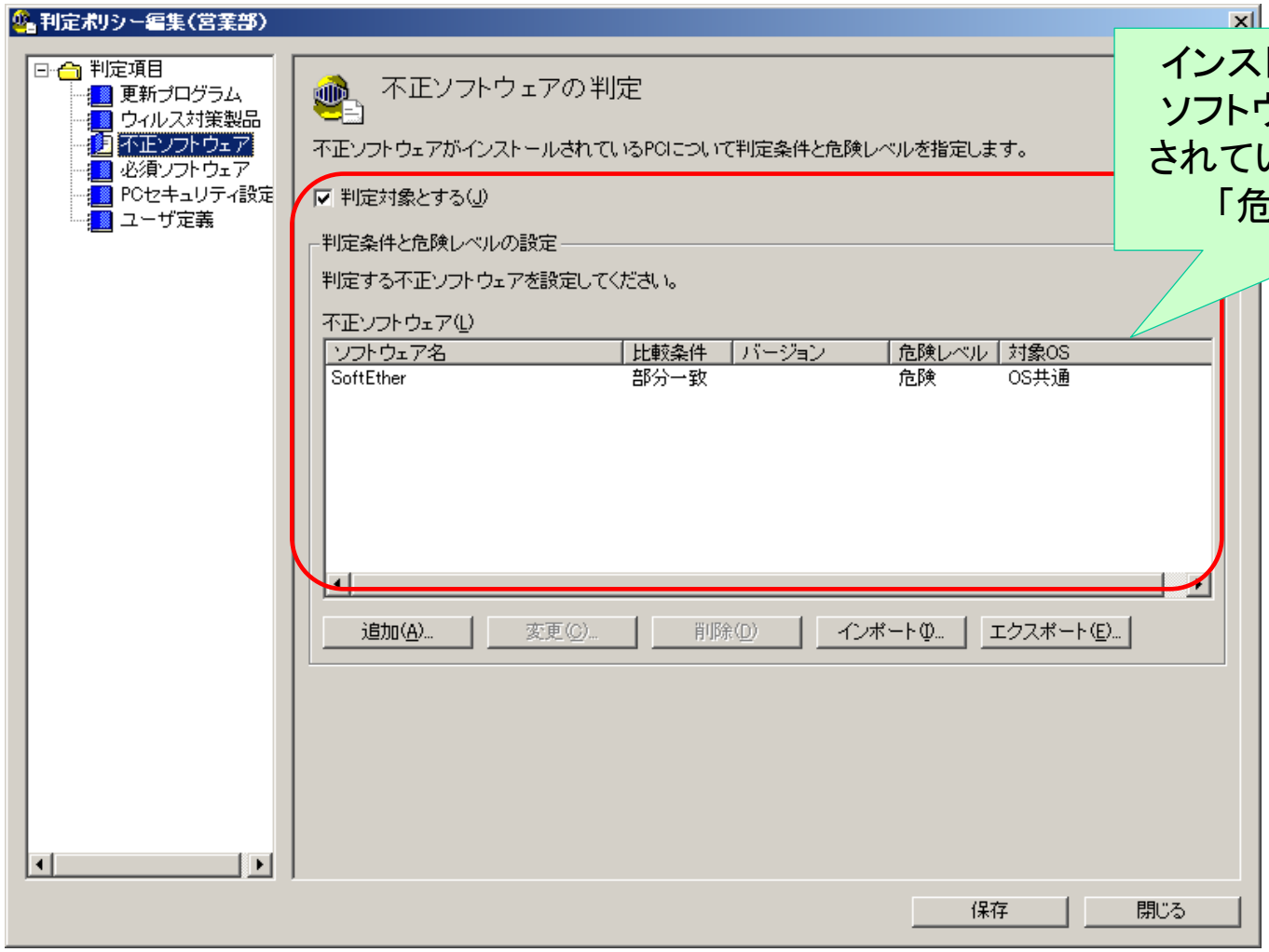
■セキュリティ対策状況の判定ポリシー設定



ウイルス対策製品が
最新バージョンでない、
または非常駐であったら、
危険レベルを「危険」と判定する。

2-2. 判定ポリシーを設定

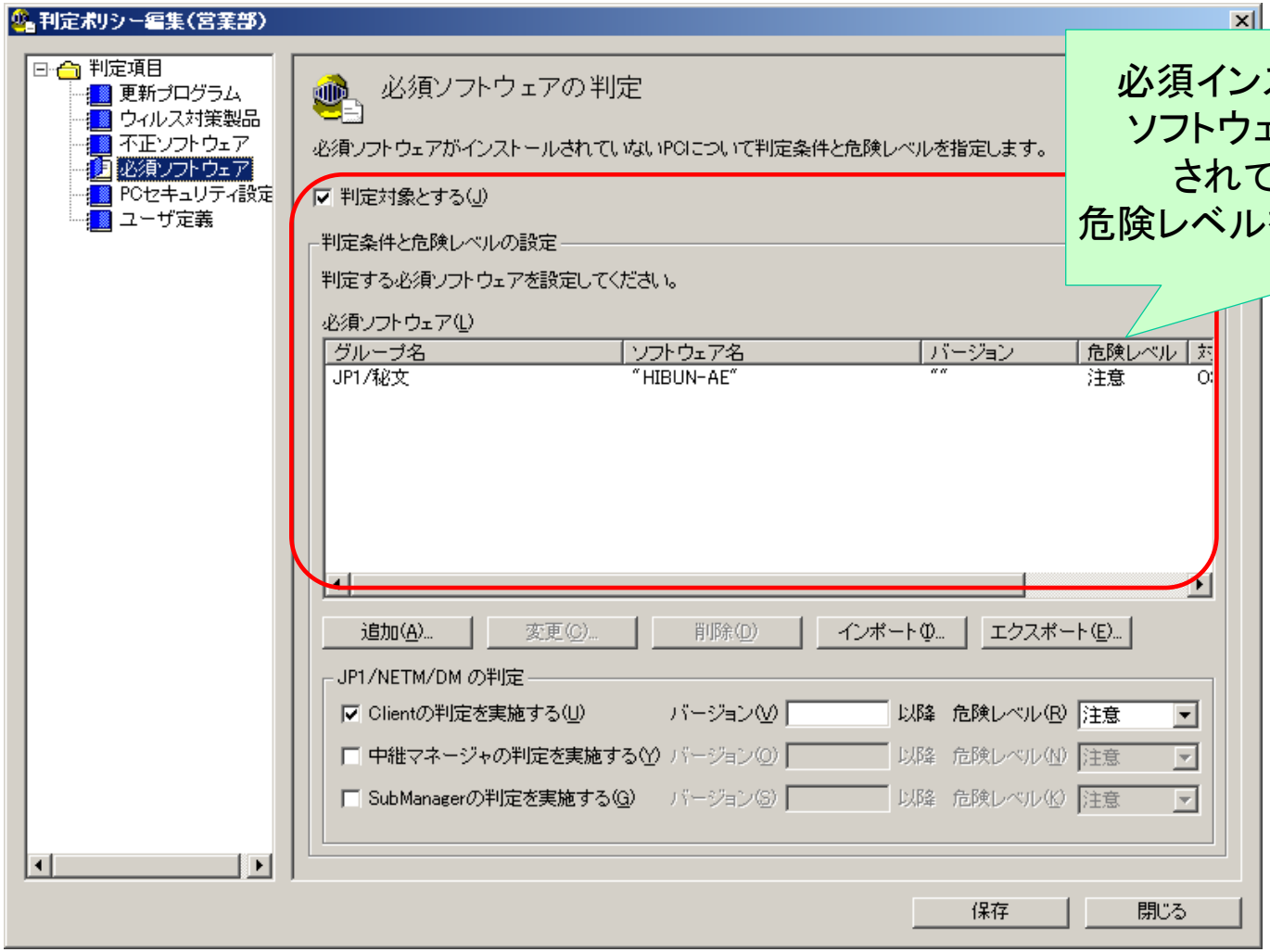
■セキュリティ対策状況の判定ポリシー設定



インストールして欲しくないソフトウェアがインストールされていたら、危険レベルを「危険」と判定する。

2-2. 判定ポリシーを設定

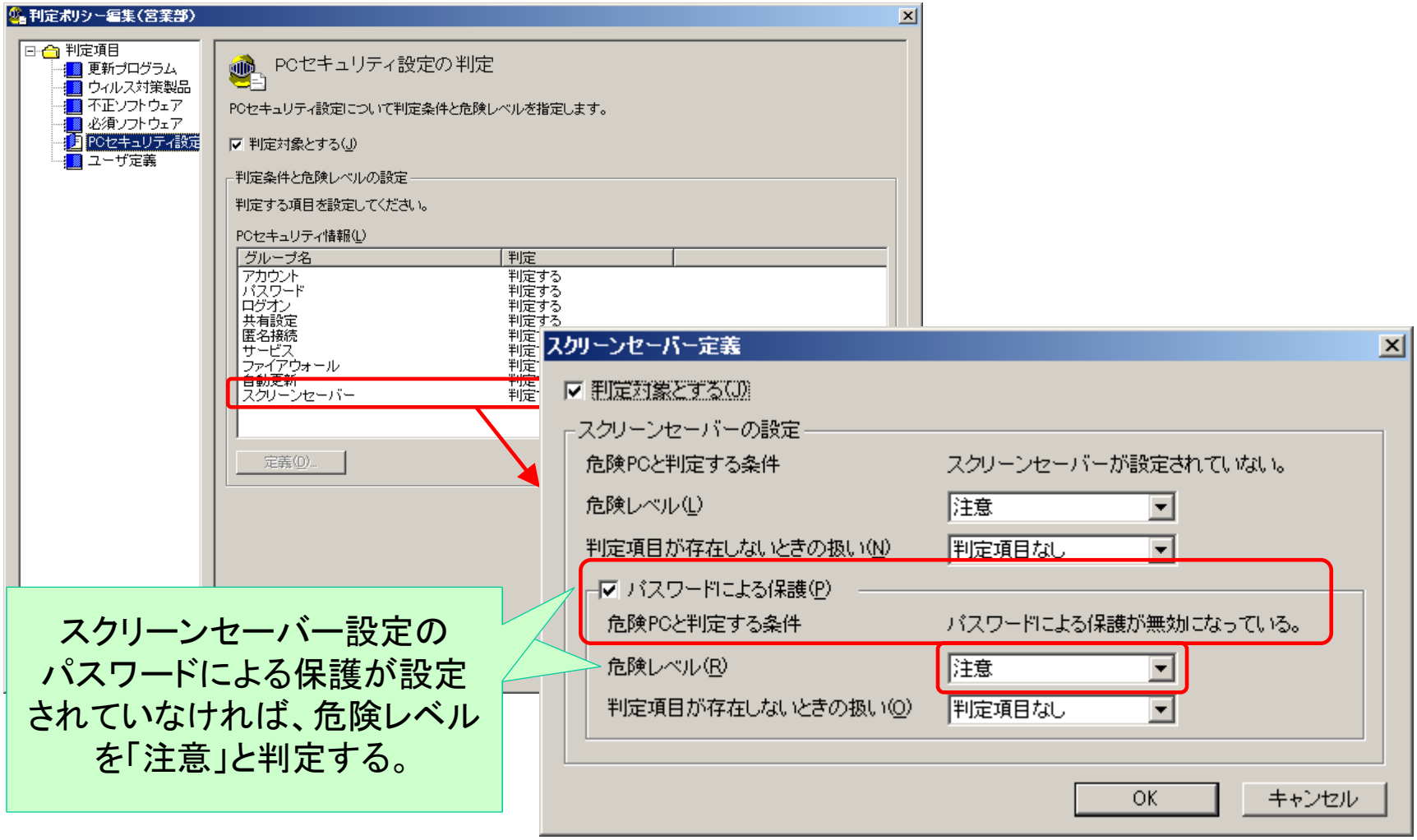
■セキュリティ対策状況の判定ポリシー設定



必須インストールして欲しい
ソフトウェアがインストール
されていなかったら、
危険レベルを「注意」と判定する。

2-2. 判定ポリシーを設定

■セキュリティ対策状況の判定ポリシー設定



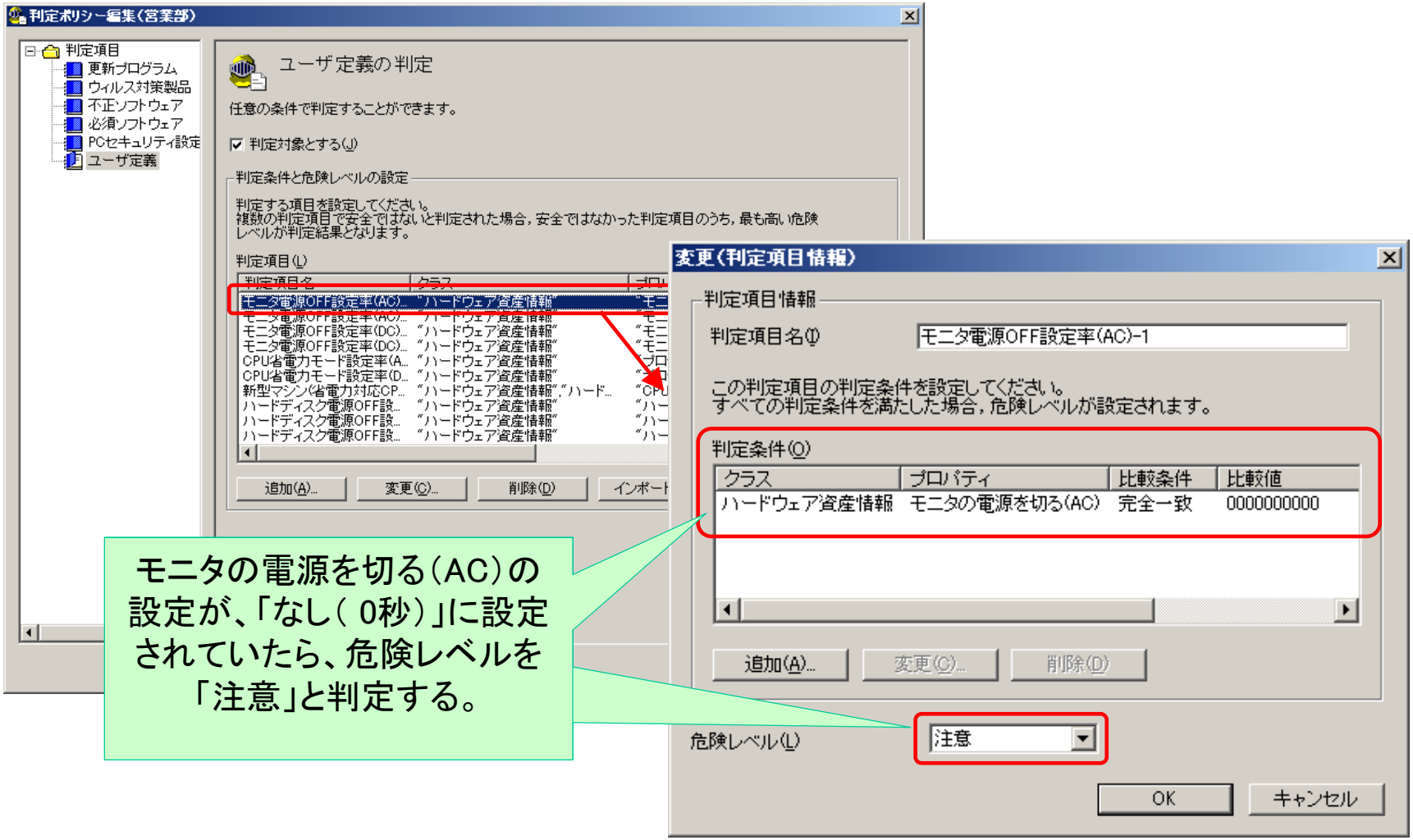
スクリーンセーバー設定の
パスワードによる保護が設定
されていなければ、危険レベル
を「注意」と判定する。

2-2. 判定ポリシーを設定

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/CSC

■省電力設定状況の判定ポリシー設定



2-3. 判定処理を実行

その3

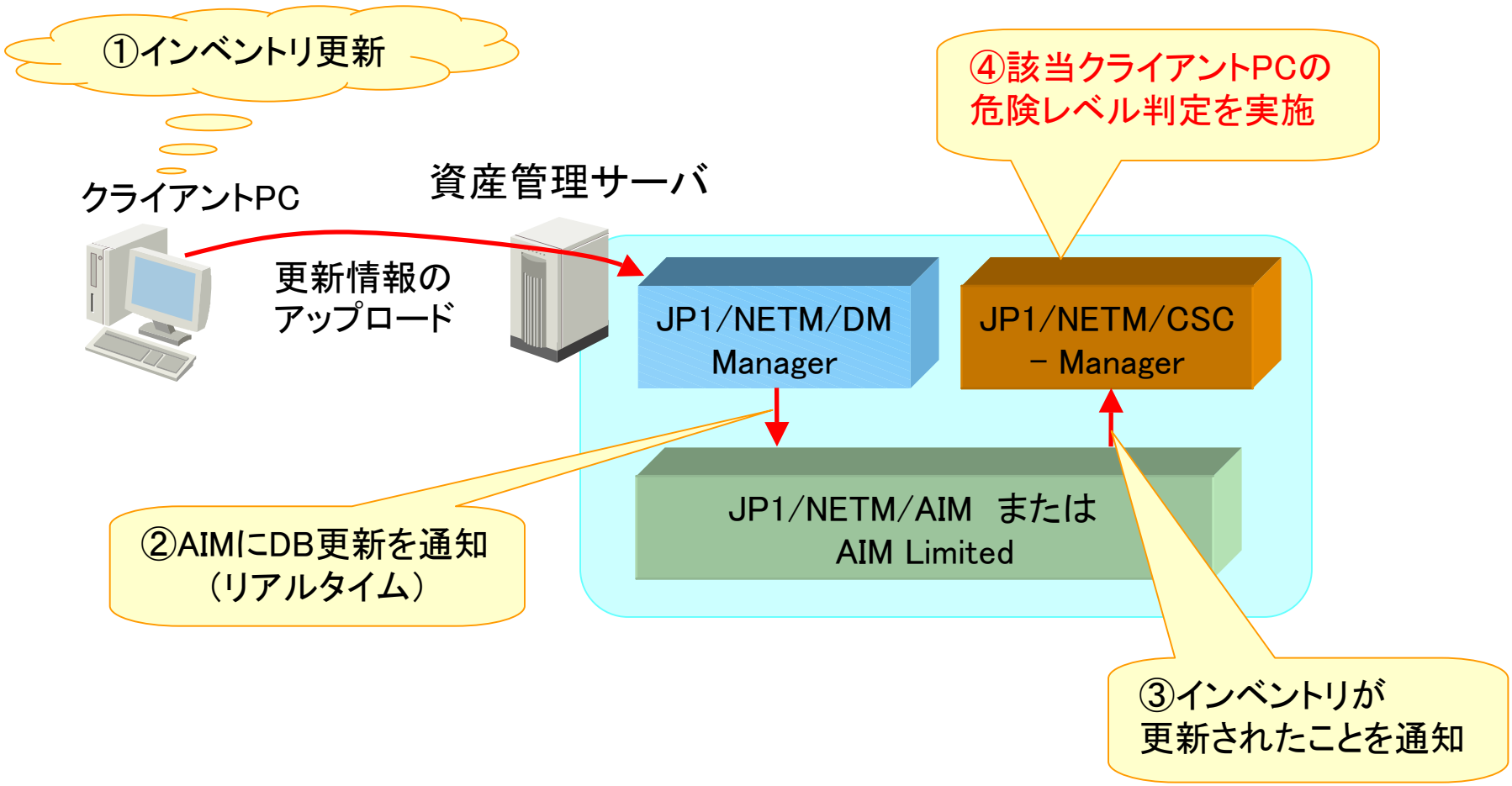
判定処理を実行します。

判定の契機は、次の3パターンになります。

- クライアントPCのインベントリ情報が更新されたことを契機に『判定』を実施
- コマンドの実行（スケジュール）を契機に『判定』を実施
- 管理者指示を契機に『判定』を実施

2-3. 判定処理を実行

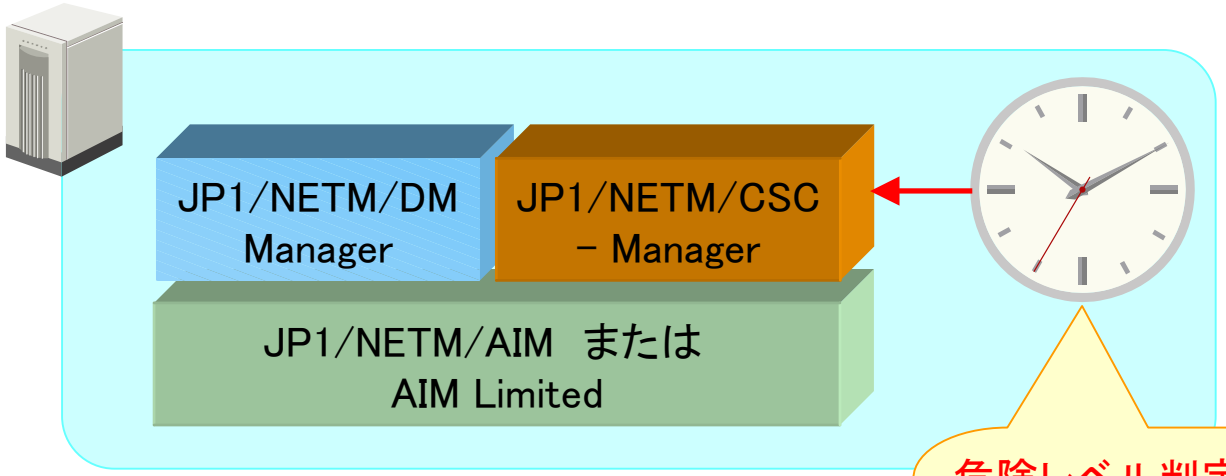
■ クライアントPCのインベントリ情報が更新されたことを契機に『判定』を実施



2-3. 判定処理を実行

■ コマンドの実行（スケジュール）を契機に『判定』を実施

資産管理サーバ



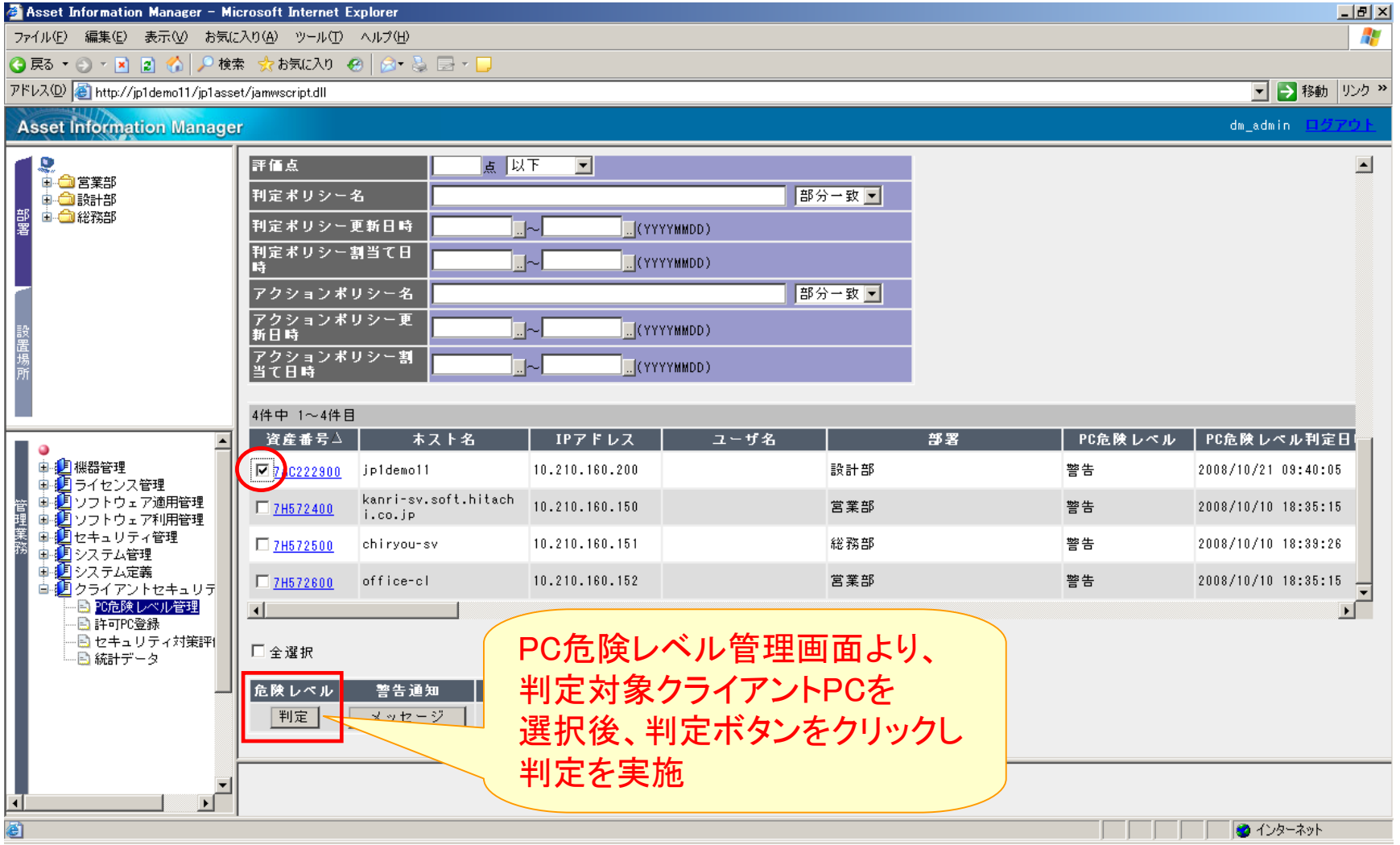
危険レベル判定コマンドを
『タスクスケジューラ』や
『JP1/AJS2 』などの
スケジューラに登録し
定期的に判定を実施

2-3. 判定処理を実行

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/CSC

■ 管理者指示を契機に『判定』を実施

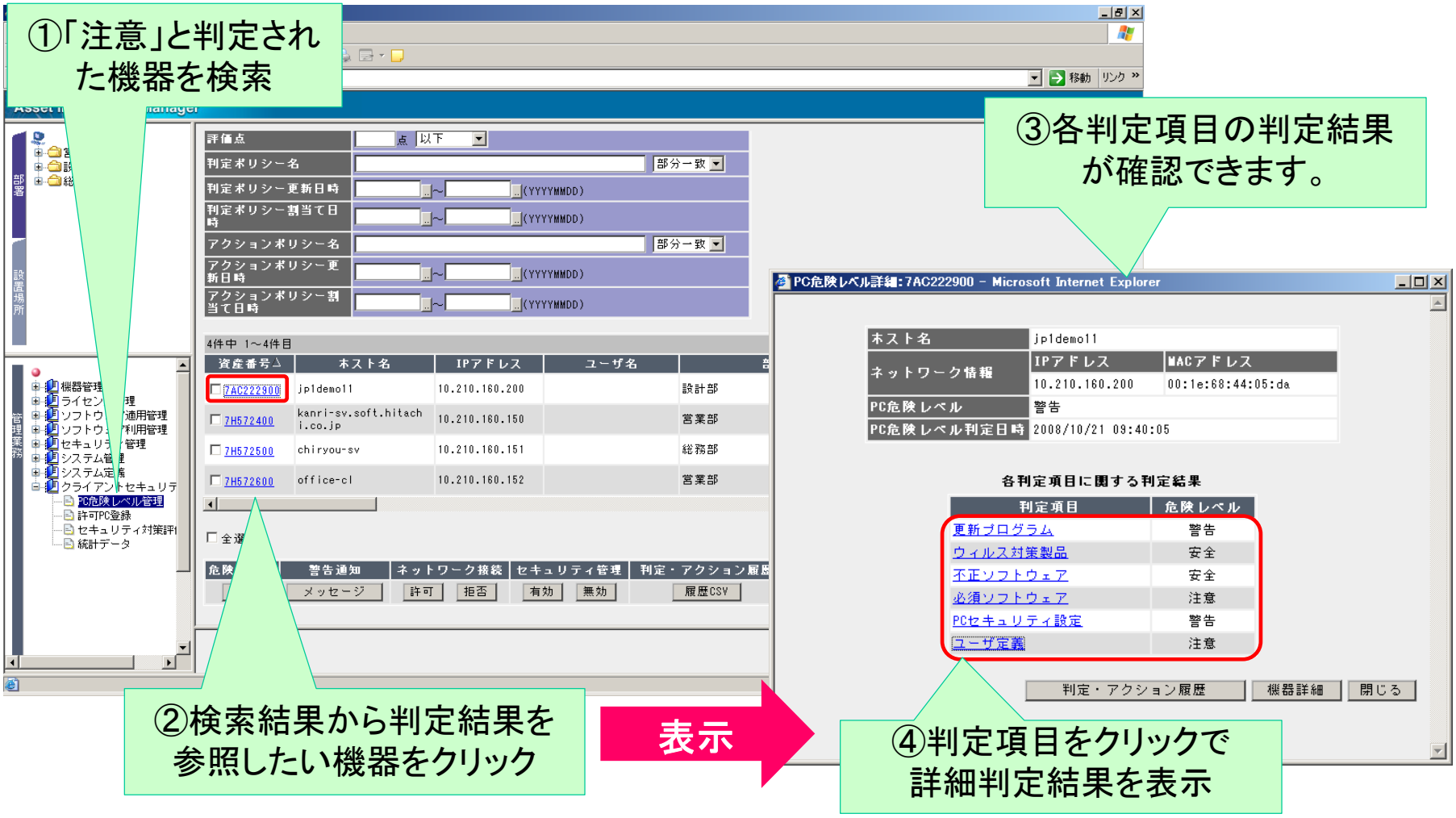


2-4. 判定結果を確認

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

その4　判定結果を確認します



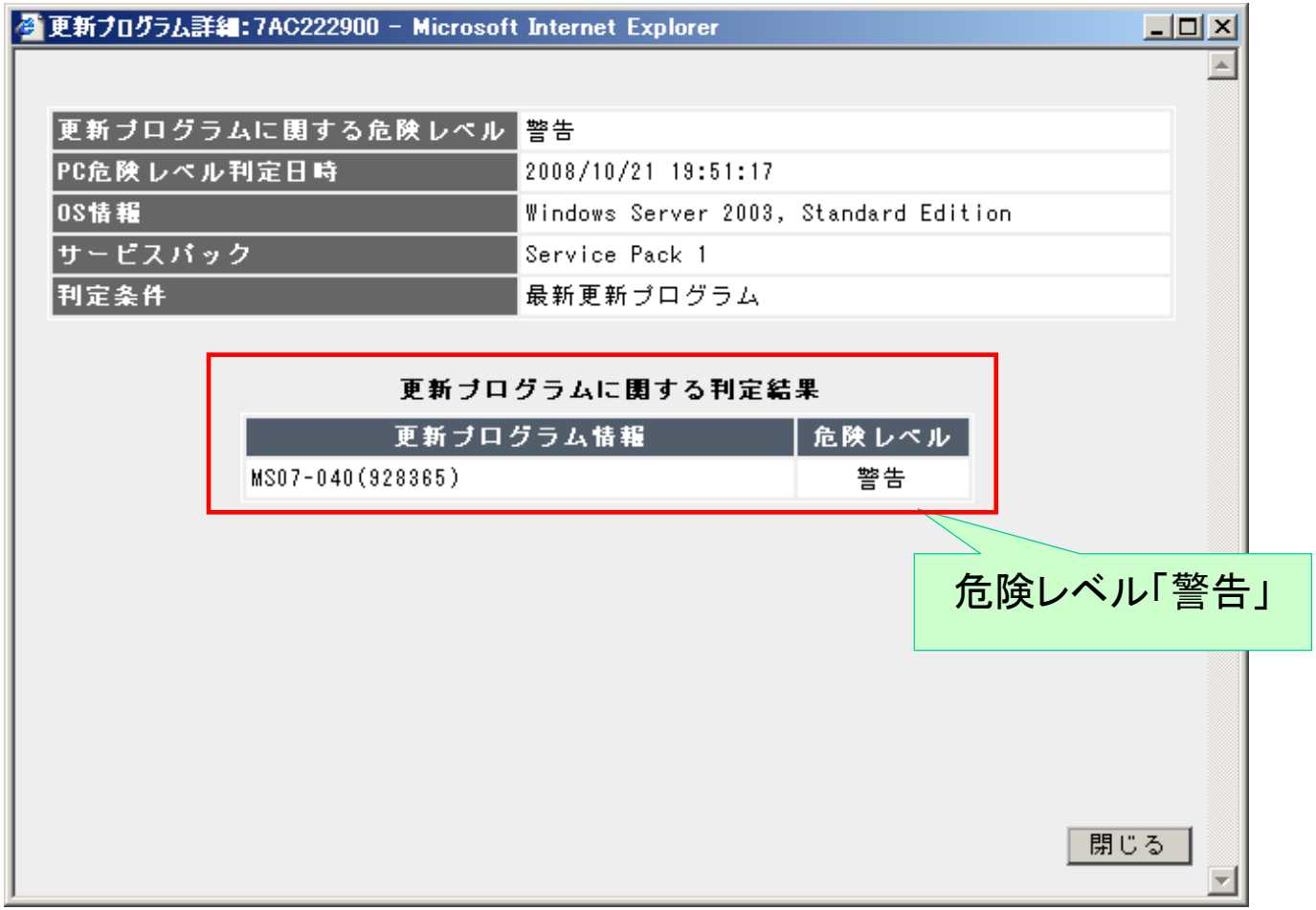
2-4. 判定結果を確認

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

■セキュリティ対策状況の確認

「更新プログラム」の詳細判定結果

管理者側でどこの設定が不十分であるかを把握できます。



2-4. 判定結果を確認

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

■セキュリティ対策状況の確認

「ウイルス対策製品」の詳細判定結果

管理者側でどこの設定が不十分であるかを把握できます。

危険レベル「安全」

2-4. 判定結果を確認

HITACHI
Inspire the Next

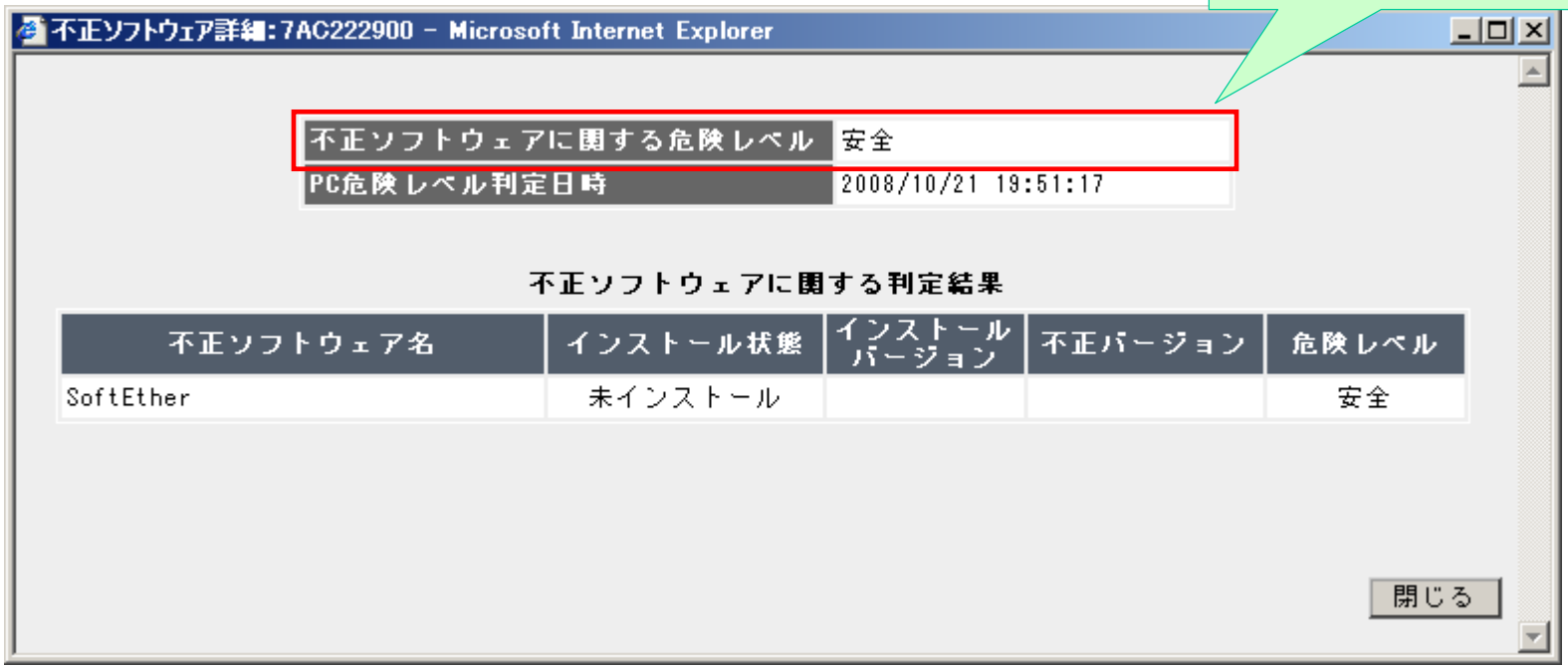
JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

■セキュリティ対策状況の確認

「不正ソフトウェア」の詳細判定結果

管理者側でどこの設定が不十分であるかを把握できます。

危険レベル「安全」



2-4. 判定結果を確認

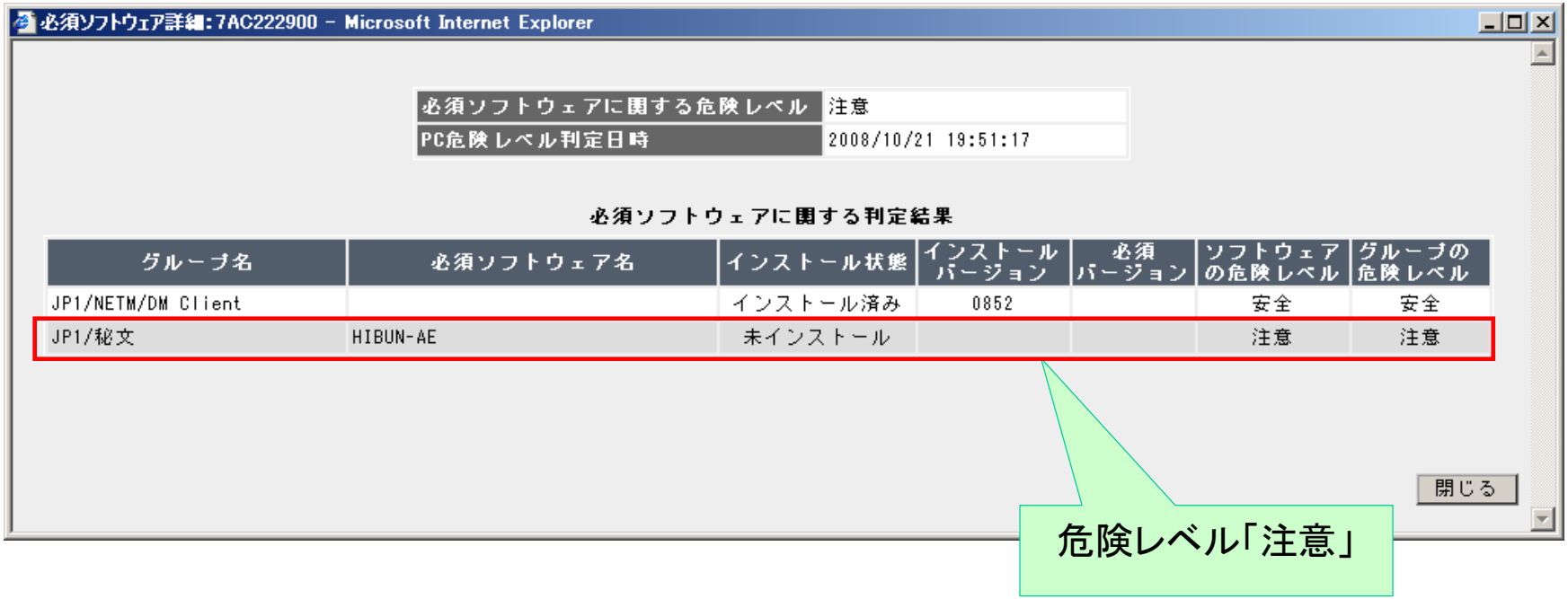
HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

■セキュリティ対策状況の確認

「必須ソフトウェア」の詳細判定結果

管理者側でどこの設定が不十分であるかを把握できます。



2-4. 判定結果を確認

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

■セキュリティ対策状況の確認

「PCセキュリティ設定」の詳細判定結果

管理者側でどこの設定が不十分であるかを把握できます。

危険レベル「警告」

PCセキュリティ設定詳細:7AC222900 - Microsoft Internet Explorer

PCセキュリティ設定に関する危険レベル	警告
PC危険レベル判定日時	2008/10/21 19:51:17

PCセキュリティ設定に関する判定結果

グループ	判定項目	PC設定	判定条件	危険レベル
アカウント	Guestアカウント設定	Guestアカウント無効	Guestアカウント有効	安全
パスワード	脆弱なパスワード	なし	−	安全
	無期限パスワード	Administrator;ASPNET;IUSR_JP1DEMO11;IWAM_JP1DEMO11	−	警告
	パスワード更新経過日数	なし	180日以上	安全
ログオン	自動ログオンの設定	設定なし	−	安全
共有設定	共有フォルダの設定	設定あり	−	警告
匿名接続	匿名接続による制限	無効(制限されていない)	−	警告
サービス	不要サービスの稼働	不要サービスあり	−	警告
自動更新	Windows自動更新の設定	有効	−	安全
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの設定	有効	−	安全
	スクリーンセーバーのパスワードによる保護	有効	−	安全

判定結果の詳細

閉じる

2-4. 判定結果を確認

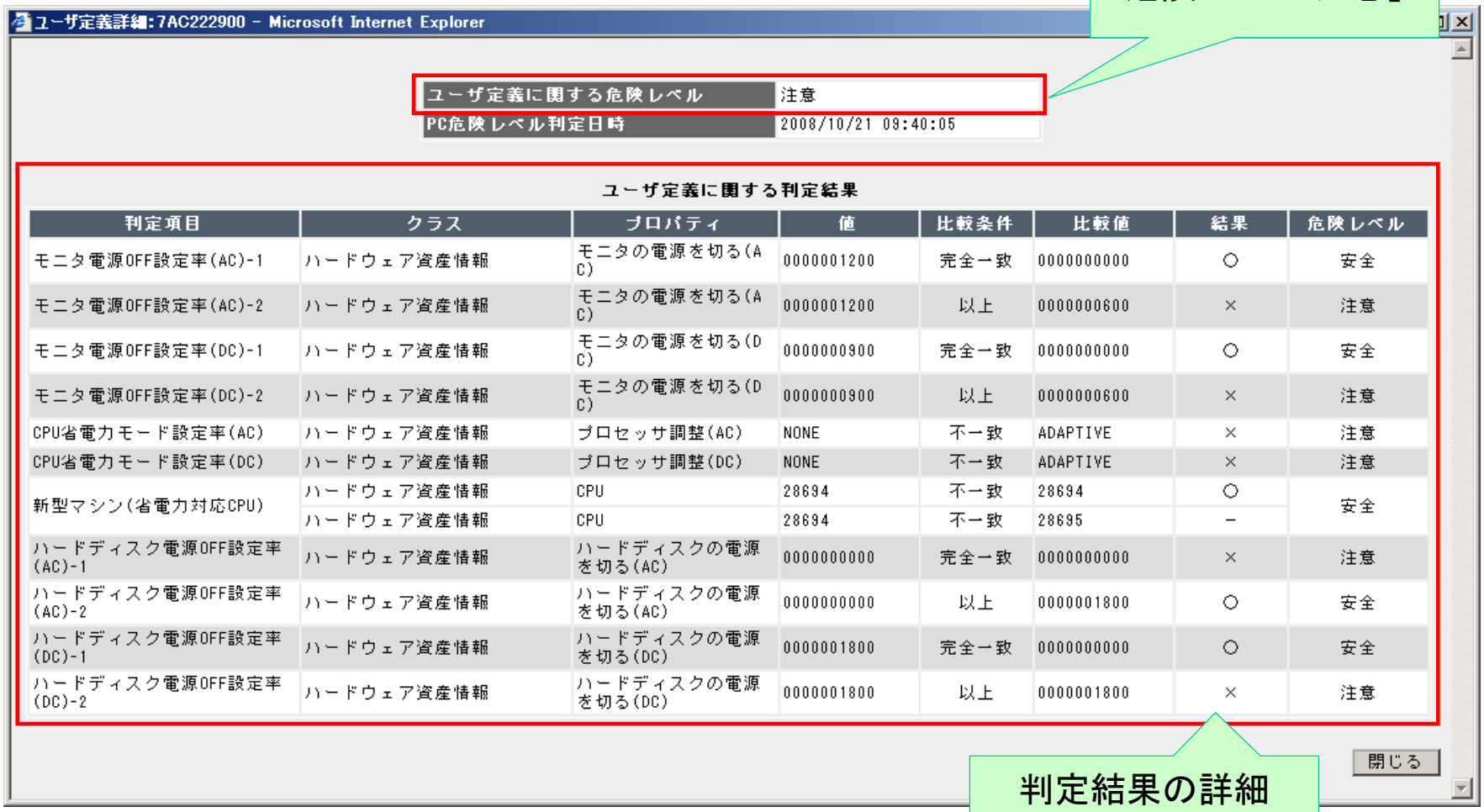
JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

■省電力設定状況の確認

「ユーザ定義」の詳細判定結果

管理者側でどこの設定が不十分であるかを把握できます。

危険レベル「注意」



判定項目	クラス	プロパティ	値	比較条件	比較値	結果	危険レベル
モニタ電源OFF設定率(AC)-1	ハードウェア資産情報	モニタの電源を切る(AC)	0000001200	完全一致	0000000000	○	安全
モニタ電源OFF設定率(AC)-2	ハードウェア資産情報	モニタの電源を切る(AC)	0000001200	以上	0000000600	×	注意
モニタ電源OFF設定率(DC)-1	ハードウェア資産情報	モニタの電源を切る(DC)	0000000900	完全一致	0000000000	○	安全
モニタ電源OFF設定率(DC)-2	ハードウェア資産情報	モニタの電源を切る(DC)	0000000900	以上	0000000600	×	注意
CPU省電力モード設定率(AC)	ハードウェア資産情報	プロセッサ調整(AC)	NONE	不一致	ADAPTIVE	×	注意
CPU省電力モード設定率(DC)	ハードウェア資産情報	プロセッサ調整(DC)	NONE	不一致	ADAPTIVE	×	注意
新型マシン(省電力対応CPU)	ハードウェア資産情報	CPU	28694	不一致	28694	○	安全
	ハードウェア資産情報	CPU	28694	不一致	28695	-	
ハードディスク電源OFF設定率(AC)-1	ハードウェア資産情報	ハードディスクの電源を切る(AC)	0000000000	完全一致	0000000000	×	注意
ハードディスク電源OFF設定率(AC)-2	ハードウェア資産情報	ハードディスクの電源を切る(AC)	0000000000	以上	0000001800	○	安全
ハードディスク電源OFF設定率(DC)-1	ハードウェア資産情報	ハードディスクの電源を切る(DC)	0000001800	完全一致	0000000000	○	安全
ハードディスク電源OFF設定率(DC)-2	ハードウェア資産情報	ハードディスクの電源を切る(DC)	0000001800	以上	0000001800	×	注意

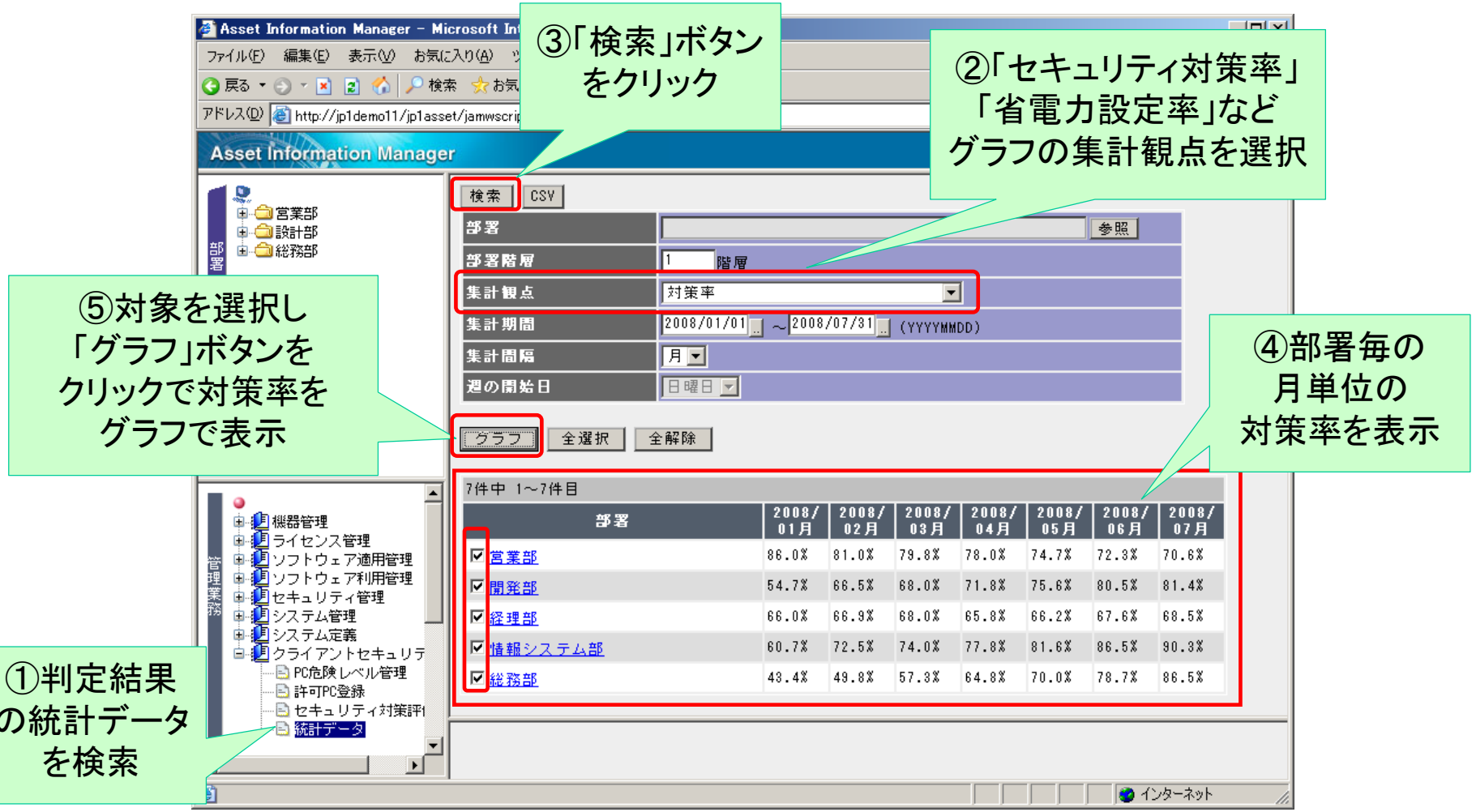
判定結果の詳細

2-5. 対策傾向をグラフで確認

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

その5　グラフで対策傾向を把握します



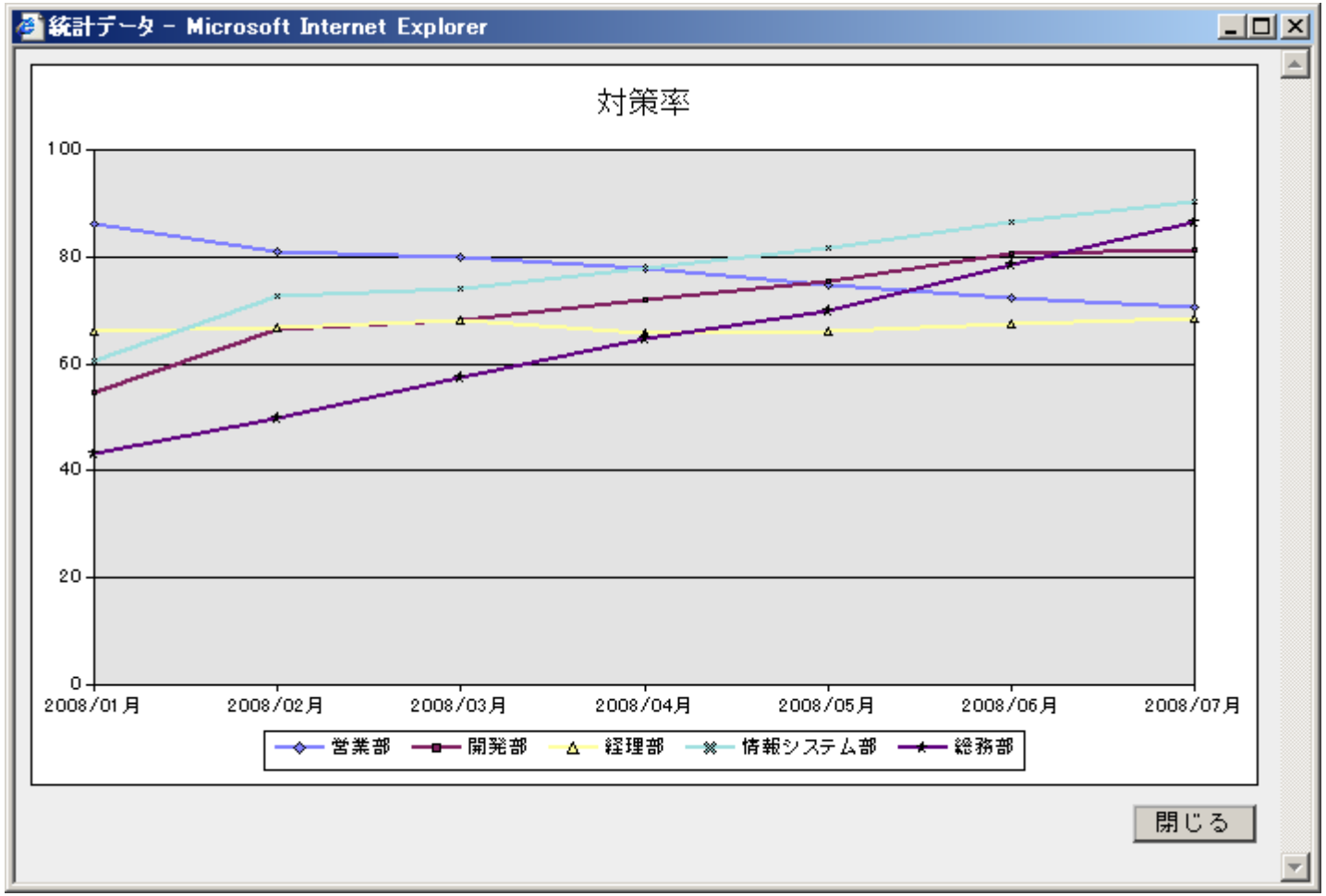
2-5. 対策傾向をグラフで確認

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

部署毎のPCのセキュリティ対策率をグラフで表示

管理者側で部署毎のセキュリティ対策率の傾向をビジュアル的に把握できます。



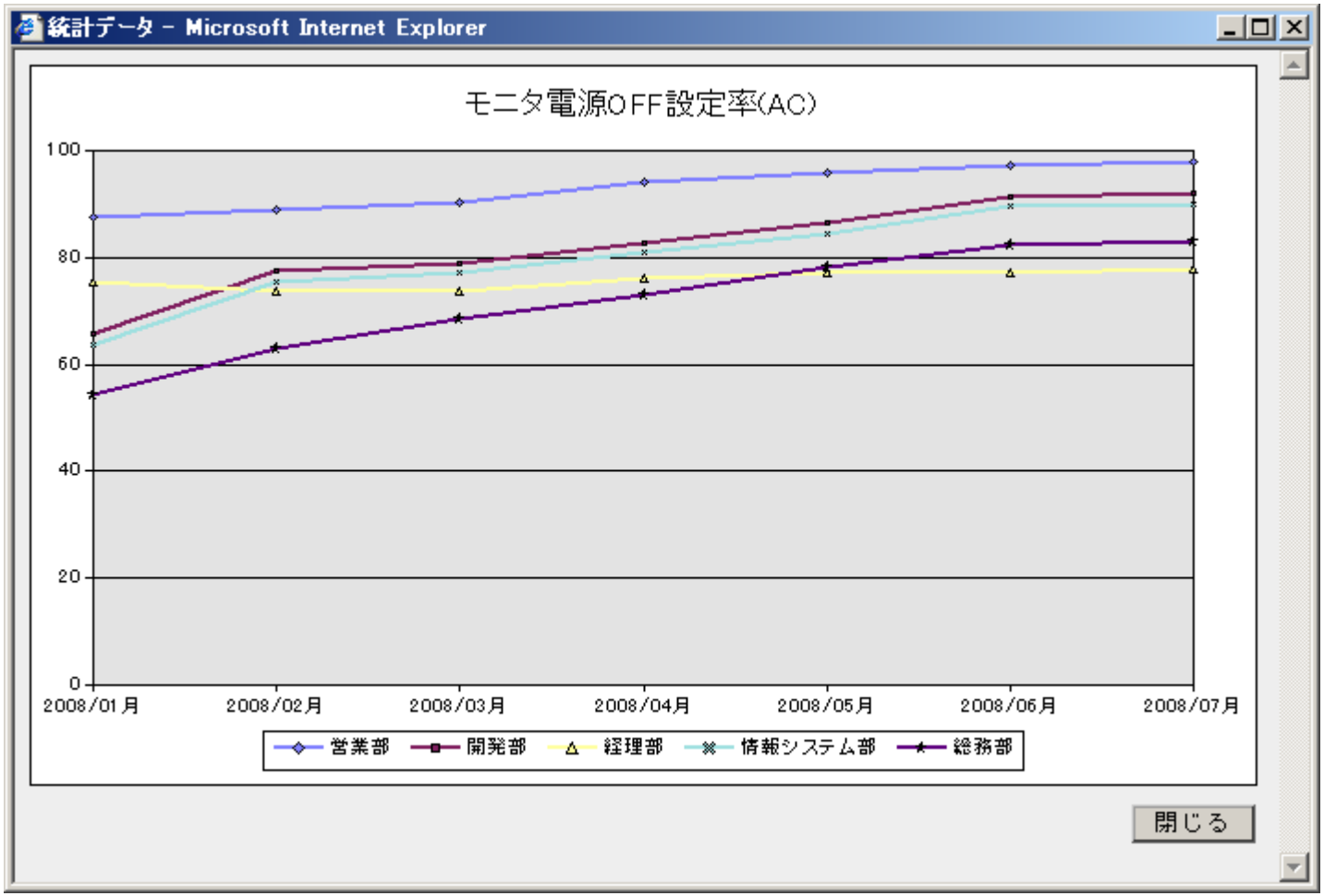
2-5. 対策傾向をグラフで確認

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

部署毎のPCの省電力設定率をグラフで表示

PCの省電力設定率を観点に対策傾向をグラフ表示することもできます。

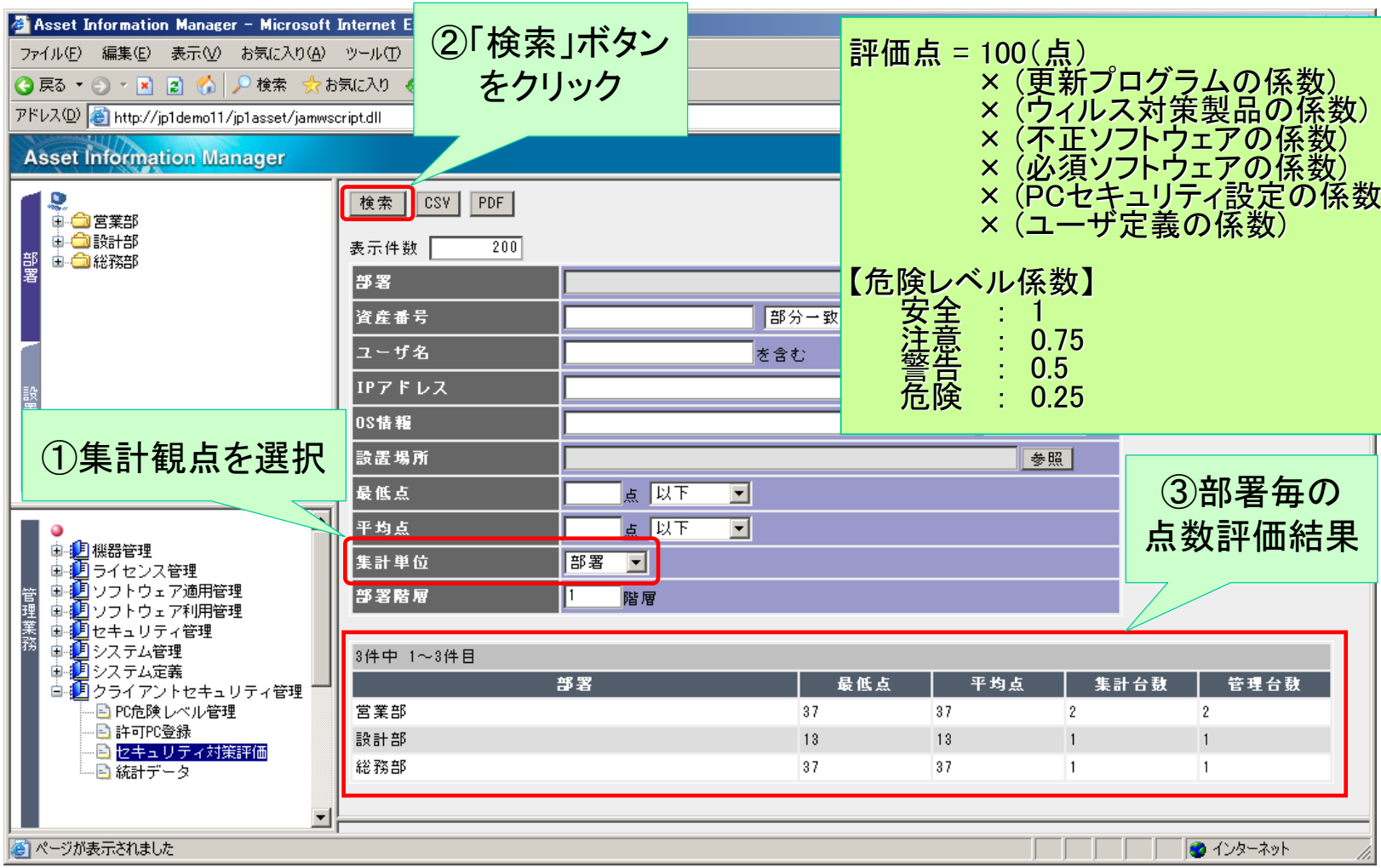


2-6. 部署毎のセキュリティ対策状況を点数評価

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM | JP1/NETM/CSC

その6　部署毎にセキュリティ対策状況を点数評価できます



HITACHI
Inspire the Next

3

JP1/NETM/DM Clientを漏れなく導入したい

uVALUE

3. JP1/NETM/DM Clientを漏れなく導入したい

HITACHI
Inspire the Next

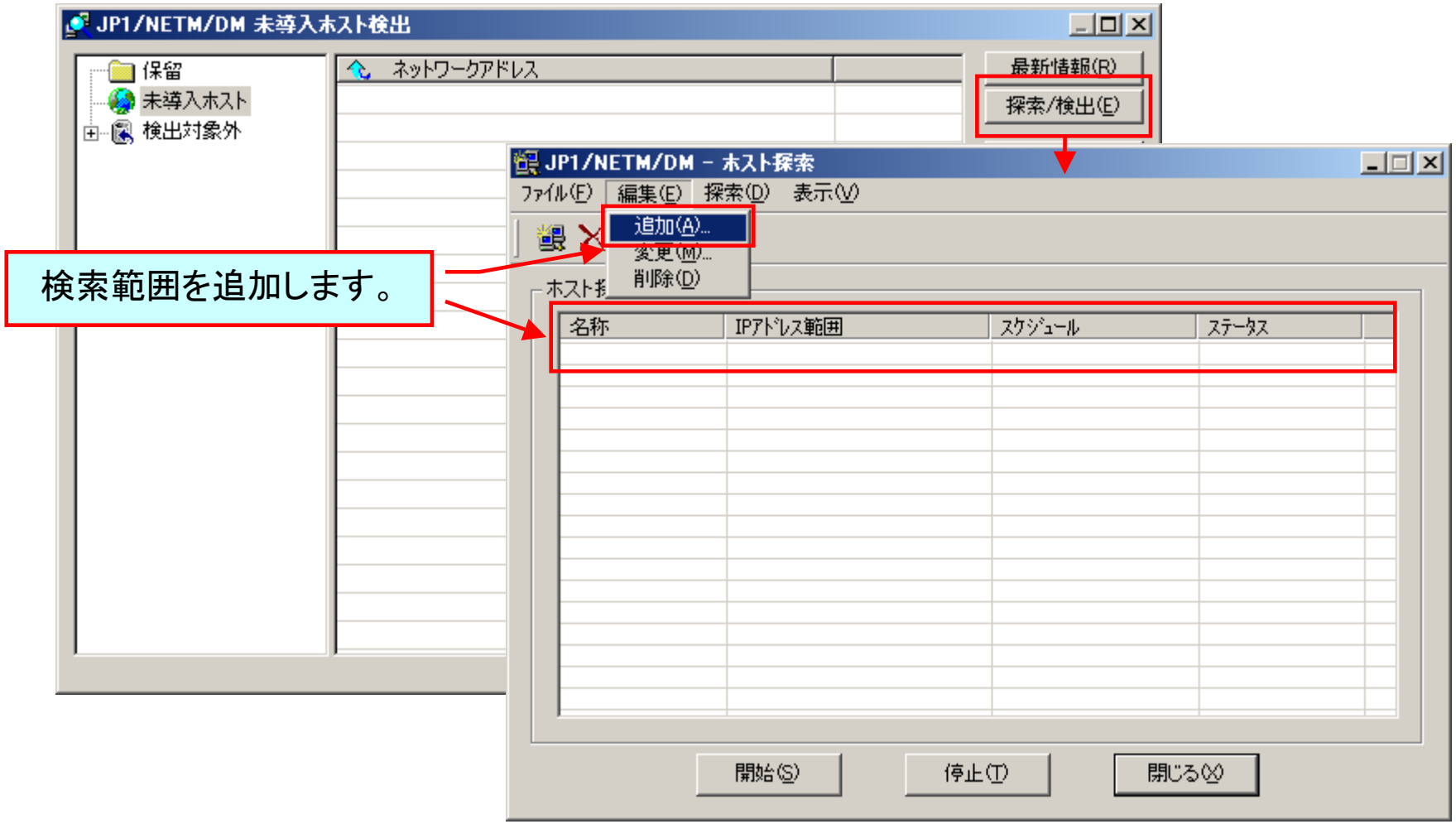
クライアントPCへのJP1/NETM/DM Clientの導入を徹底したいが、
良い方法はありますか？

JP1/NETM/DM未導入ホスト検出機能を
使用しましょう！

【対象製品】 JP1/NETM/DM

3-1. 探索範囲を指定

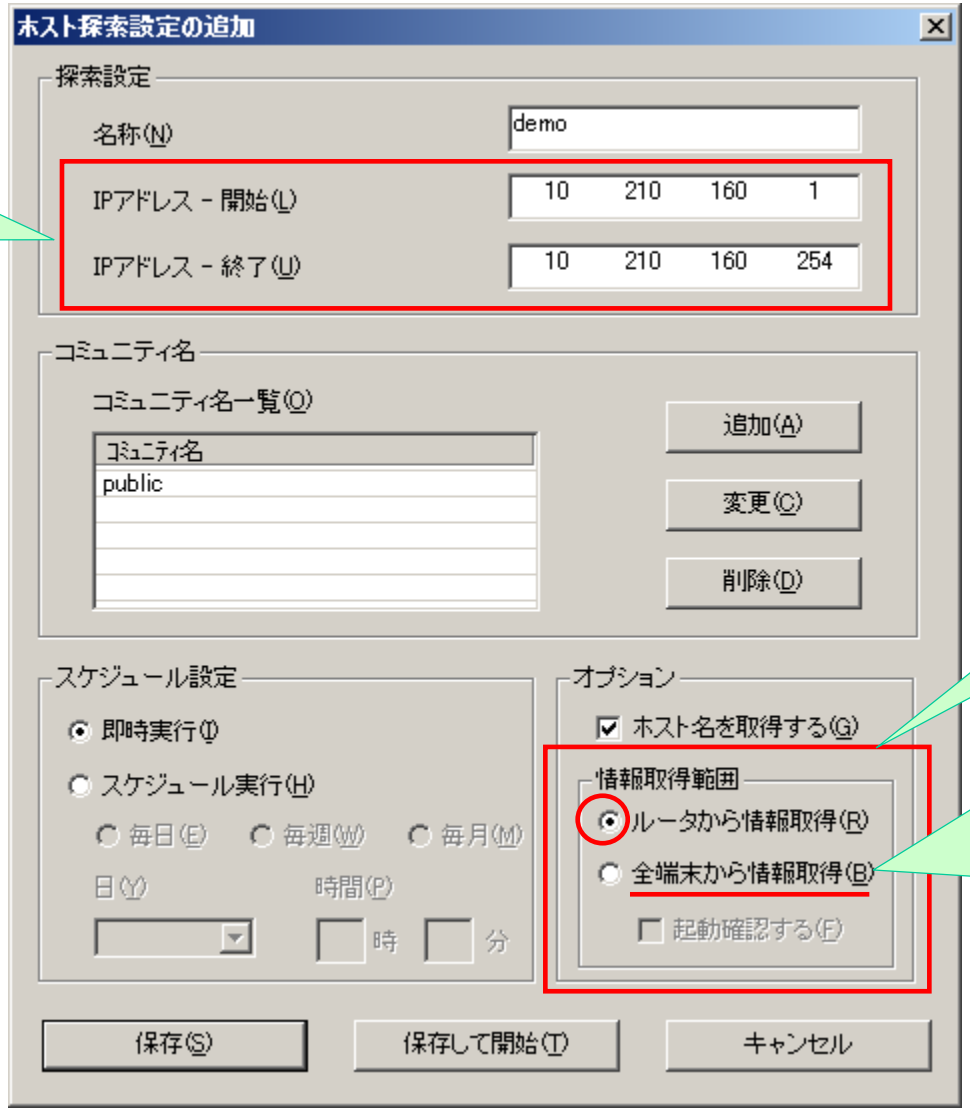
その1　探索範囲をIPアドレスで指定します



3-1. 探索範囲を指定

IPアドレスで検索範囲を指定します。

SNMPを使用してホストの情報を取得します。



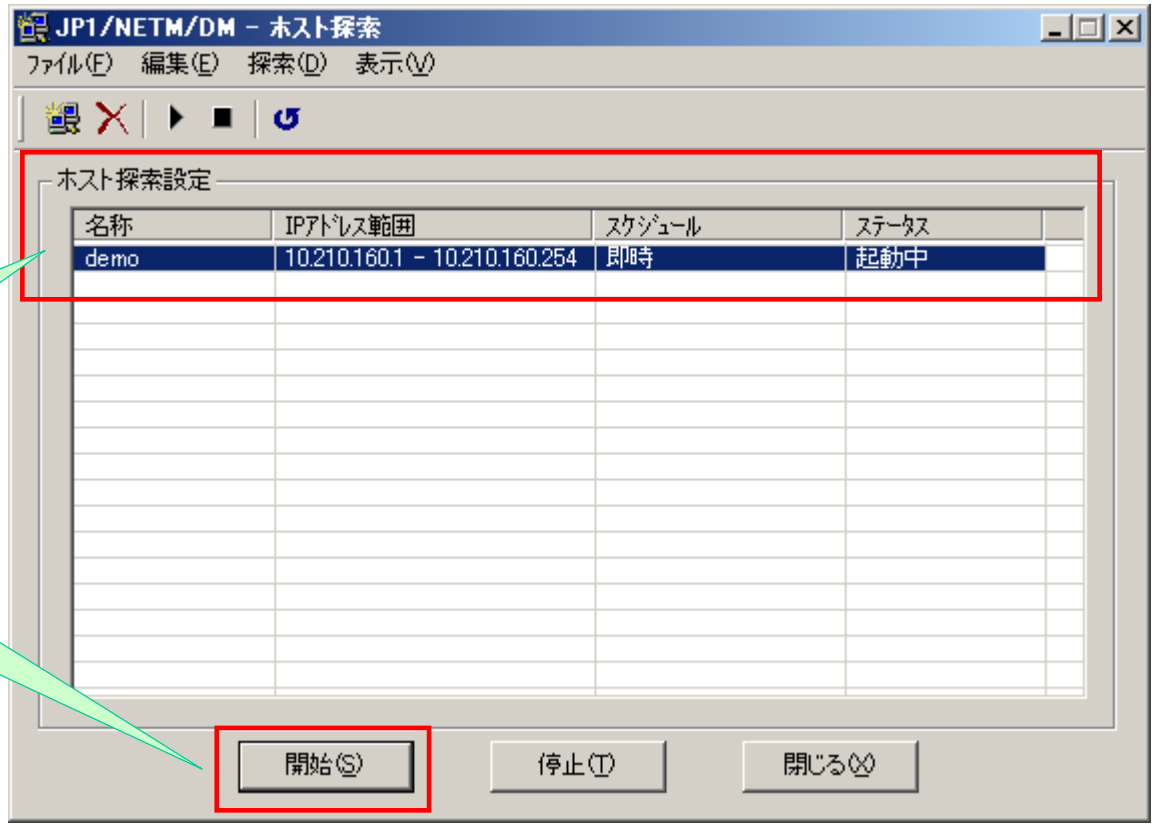
情報取得先を指定します。

探索経路にSNMPに応答しないルータが含まれる場合、ルータからの取得だけで不十分な場合に選択します。

3-2. 探索を実行

その2　探索を実行します

設定したIPアドレスの探索範囲に対し、探索を開始します。

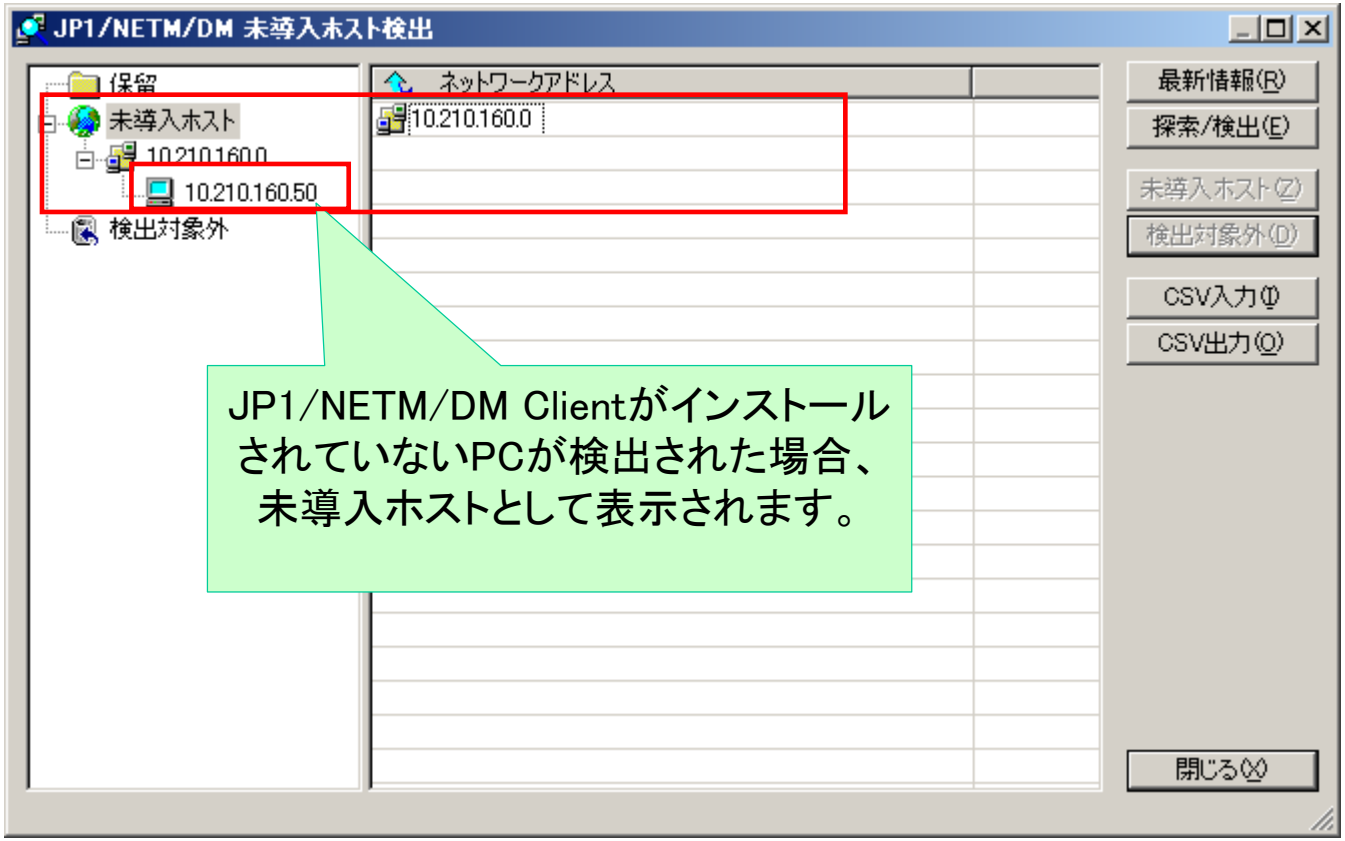


設定したIPアドレス範囲を選択し、探索を開始します。

3-3. 探索結果を確認

その3 JP1/NETM/DM Client未導入PCの探索結果を確認します

「JP1/NETM/DM未導入ホスト検出」画面に未導入のホストが表示されます。



HITACHI
Inspire the Next

4

JP1/NETM/DM Clientの アンインストールを防ぎたい

uVALUE

4. JP1/NETM/DM Clientのアンインストールを防ぎたい

HITACHI
Inspire the Next

JP1/NETM/DM Clientをアンインストールされないようにする
方法はありませんか？

JP1/NETM/DM Administrator Kitを利用しましょう！

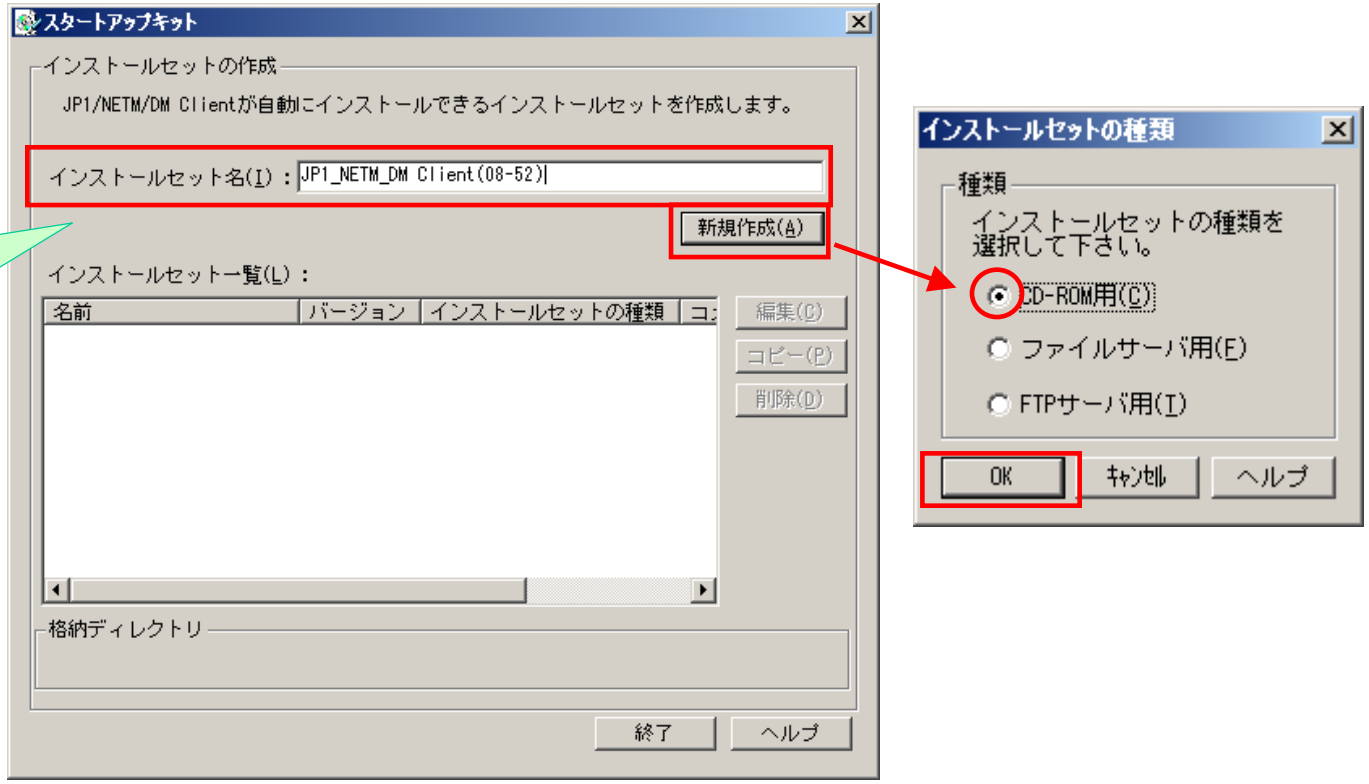
【対象製品】 JP1/NETM/DM Administrator Kit

4-1. アンインストール防止インストール媒体を作成

JP1/NETM/DM ADKでワンタッチインストールのJP1/NETM/DM Client
インストール媒体を作成できますが、ユーザーによるアンインストールを防止できる
インストール媒体を作成することができます。

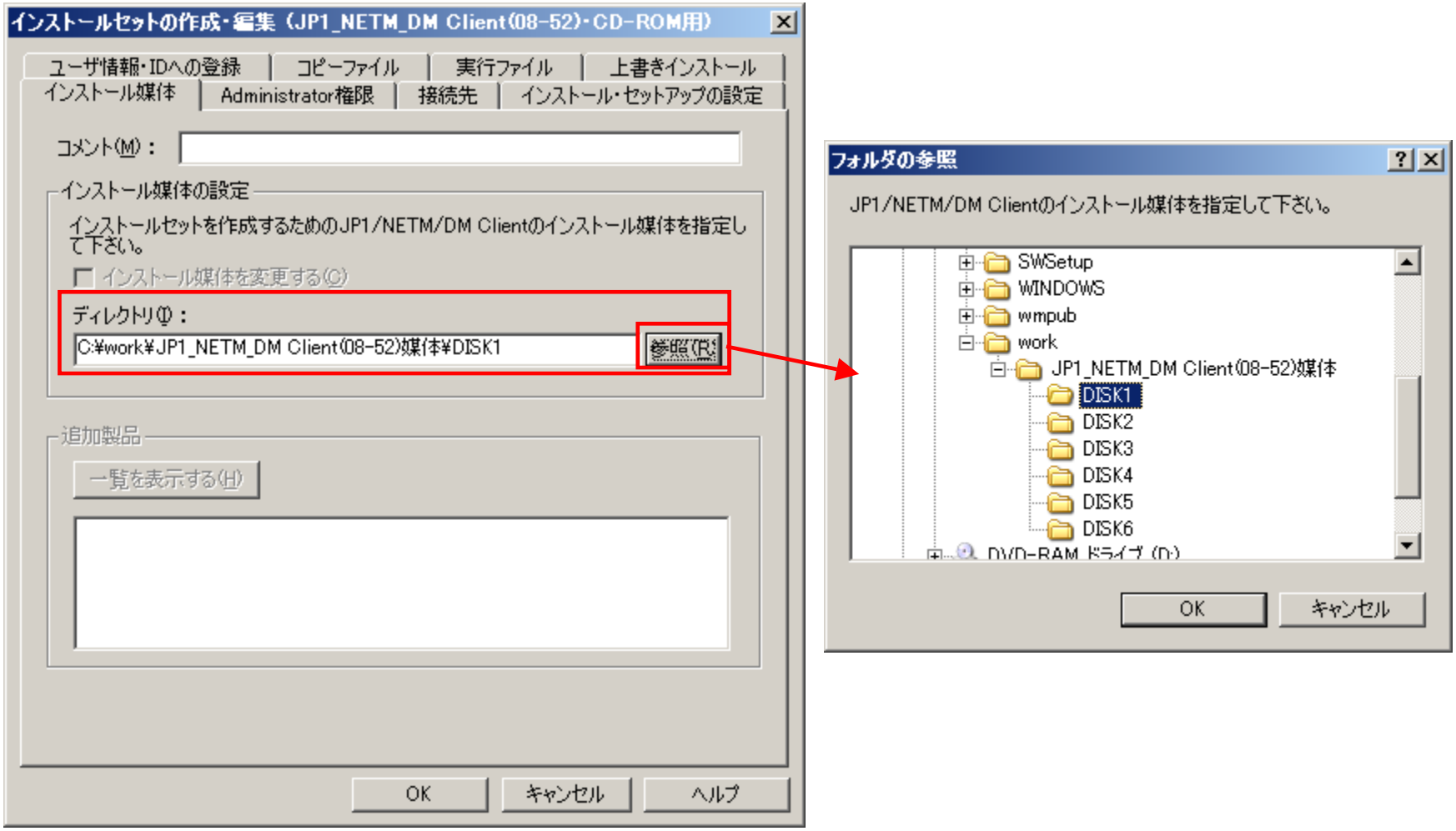
①JP1/NETM/DM ADKを使用しDM Clientインストール媒体作成を開始。

インストールセット名を指定し、「新規作成」ボタンをクリック



4-1. アンインストール防止インストール媒体を作成

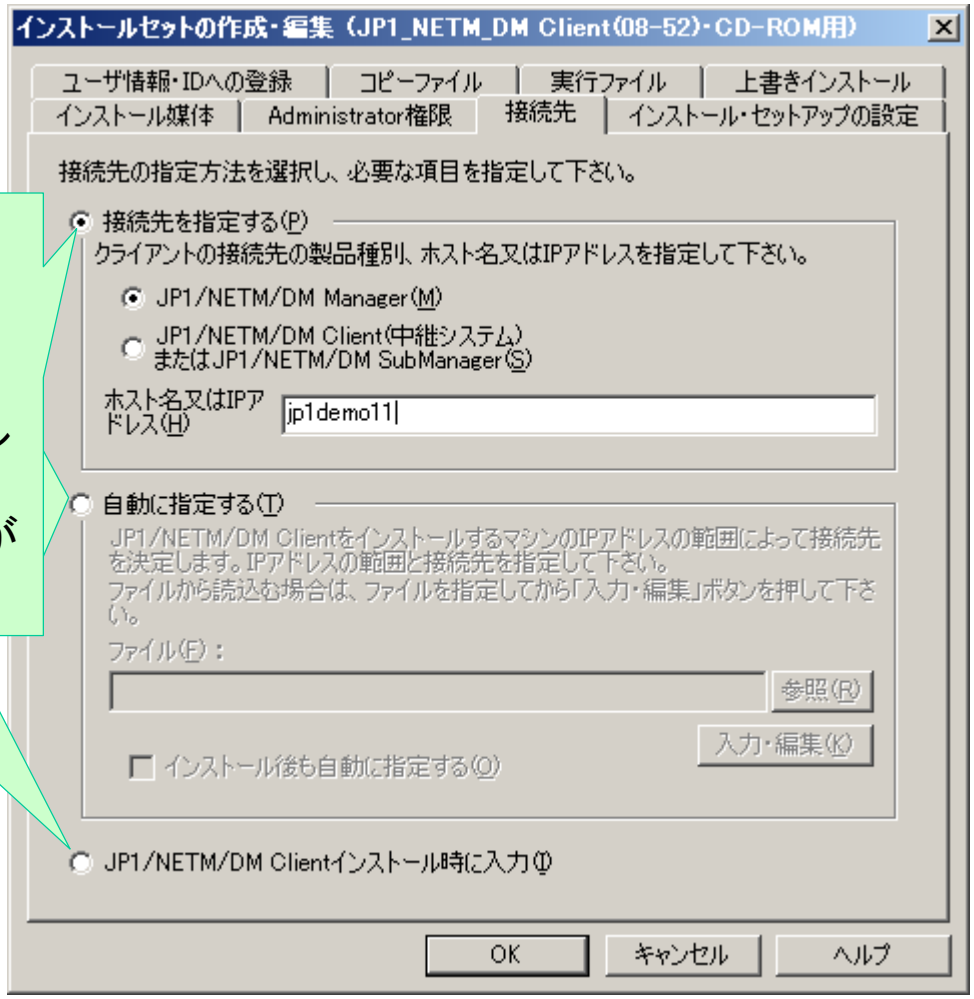
②JP1/NETM/DM Clientインストール媒体のあるフォルダを指定します。



4-1. アンインストール防止インストール媒体を作成

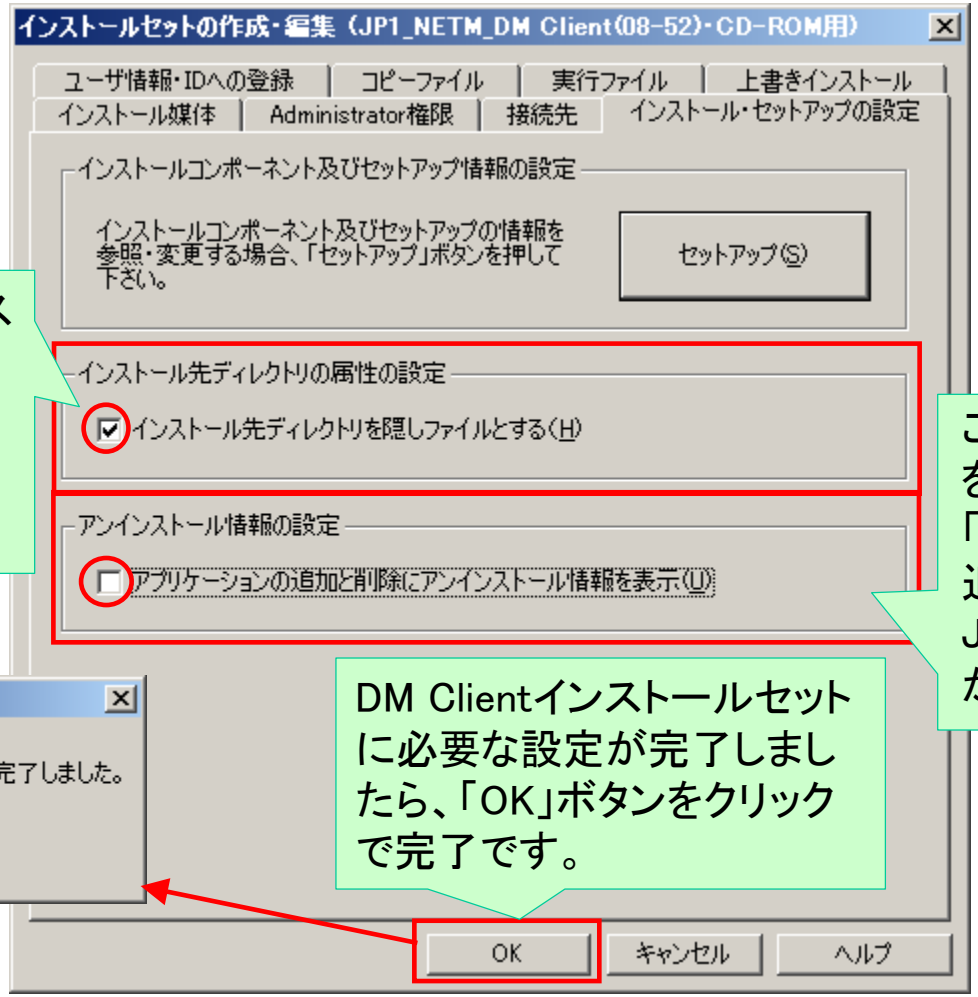
③上位接続先を指定します。

上位接続先は、
①固定で指定
②IPアドレスの範囲に
よって指定
③DM Clientインストール
時に指定
の3点の方法で指定が
可能です。



4-1. アンインストール防止インストール媒体を作成

④DM Clientのアンインストール防止設定を設定します。



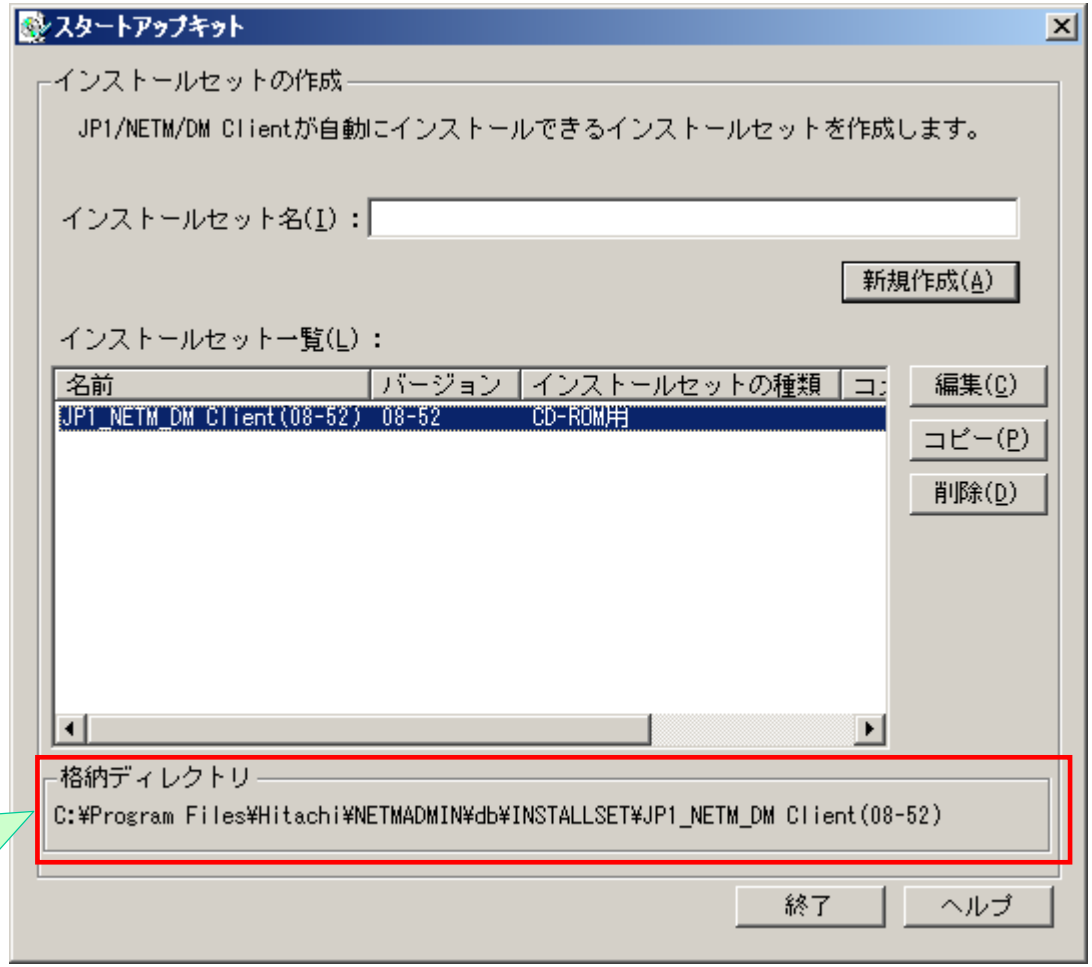
こちらのチェックボックスをオンにすると、JP1/NETM/DM Clientのインストールフォルダを非表示にします。

こちらのチェックボックスをオンにすると、「アプリケーションの追加と削除」にJP1/NETM/DM Clientが表示されません。

DM Clientインストールセットに必要な設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックで完了です。

4-1. アンインストール防止インストール媒体を作成

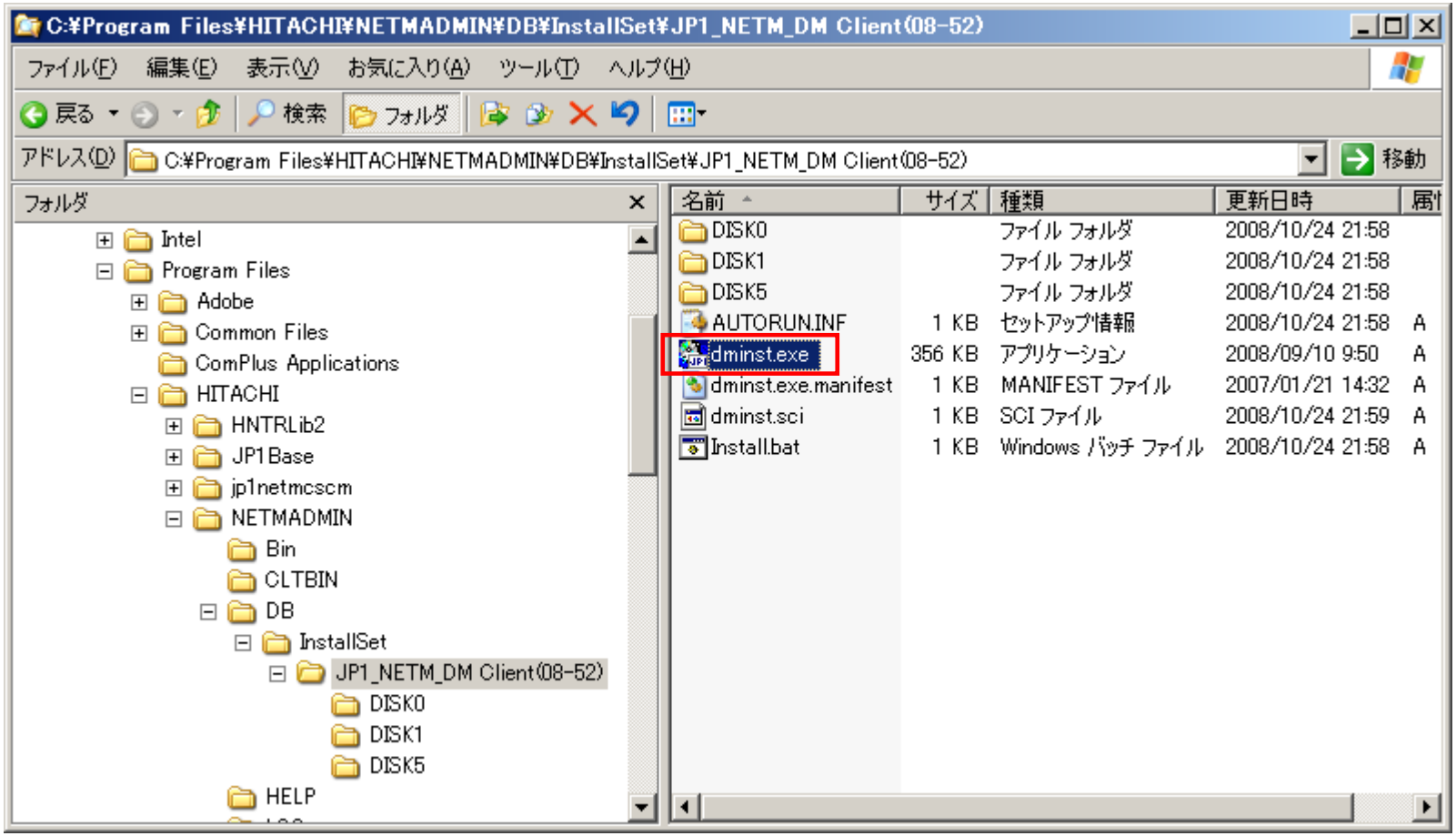
⑤DM Clientアンインストール防止設定がされたインストール媒体が作成されます。



格納ディレクトリ直下にインストール媒体が作成されています。

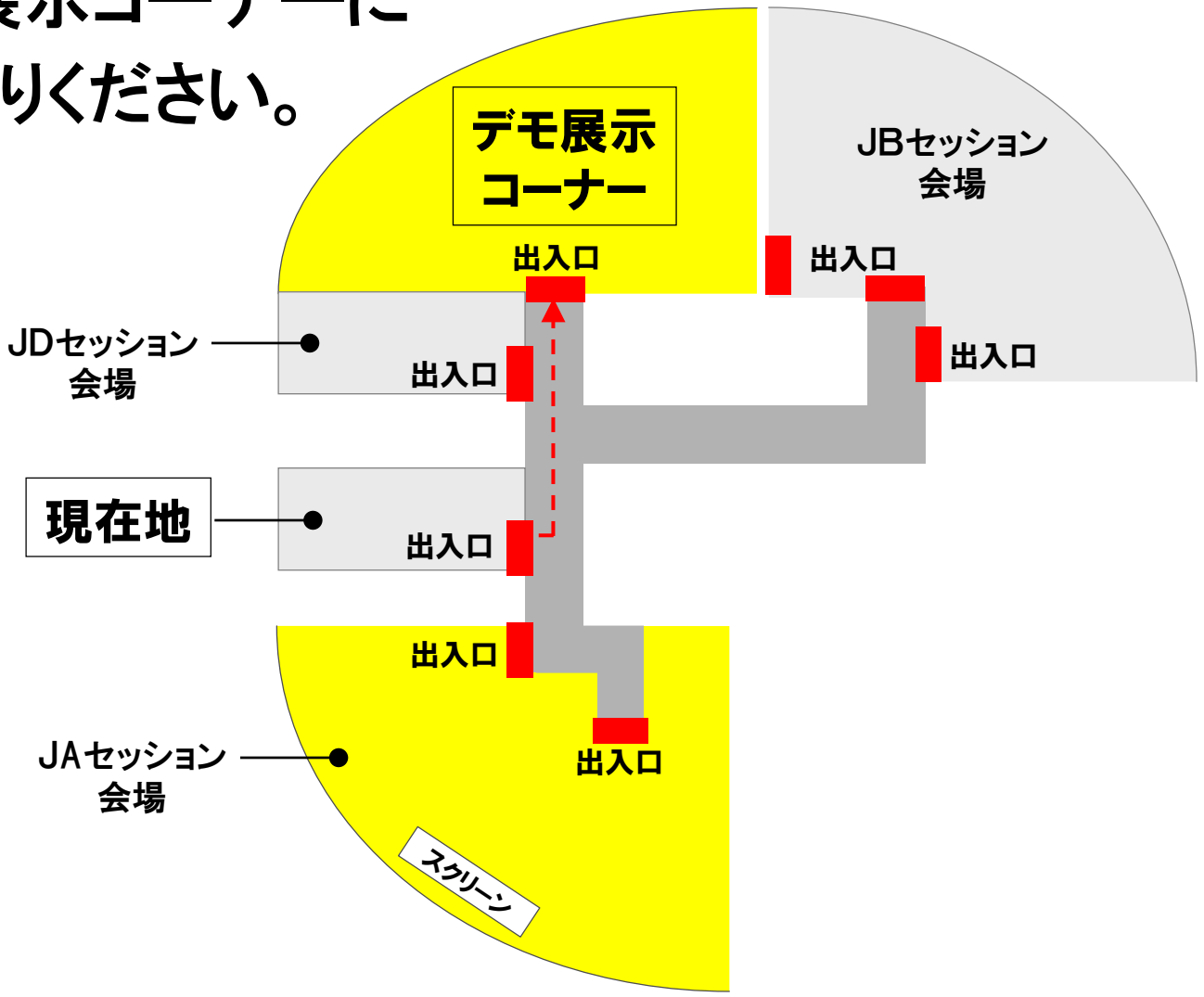
4-1. アンインストール防止インストール媒体を作成

⑥作成されたDM Clientアンインストール防止設定がされたインストール媒体を使用してDM Clientを上書きインストールまたは新規インストールすることで、アンインストール防止がされたDM Clientを展開することができます。



最後に

ぜひ、デモ展示コーナーに
お立ち寄りください。



■Windowsは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。
■秘文は、日立ソフトウェアエンジニアリング(株)の登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本資料に記載しております画面表示をはじめ、製品仕様は、改良のため
変更することがあります。
本製品を利用したシステム構築をする場合は、ご利用の製品のマニュアルを必ず
参照いただけるようお願いします。